

第5次摂津市子ども読書活動推進計画

令和7年4月
摂津市教育委員会

はじめに

本を開けば、そこはもう別の世界。恐竜がいたり、宇宙を冒険したり、未来の国へ旅したり。時には魔法使い、あるいは名探偵。そんなワクワク感が詰まっていました。知らなかったことの発見がありました。動物や植物や世界のいろんなことが分かるようになりました。感動的な物語や面白い話を読んでいると、日常を忘れ、夢中になれる時間がありました……。誰でもそんな経験があるのではないのでしょうか。



子どもたちは、読書を通して、いろいろな言葉や表現を獲得しています。それが、自分の考えをまとめたり、自分の気持ちを表現する力になっていきます。また、読みながら景色や場面を思い浮かべたり、登場人物の気持ちや物語の続きを考えています。これらが想像力を豊かにします。登場人物への共感や感情移入は、感受性を磨き、他者を理解する力へ繋がります。

子どもの読書活動は、未来を切り拓くために欠くことのできないものであり、学び続ける力の根幹を成すものだと考えています。

インターネットや SNS が普及し、情報の洪水の中で何が真実かを見極める力が必要となってきました。スマホを介して流れてくる、意図的な偽情報や拡散された誤情報などのいわゆるフェイクニュースへの正しい対応が求められるのです。そんな時代だからこそ、読書を通じて培われたクリティカルシンキング（批判的思考）が、情報の真偽を見抜いて正しい判断をする力となってくると思うのです。

摂津市では平成17年6月に「摂津市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの読書活動の推進に取り組んでまいりましたが、このたび、第4次計画における成果や課題などを検証し、「第5次摂津市子ども読書活動推進計画」を策定いたしました。

本計画に基づき、家庭、地域、学校などにおける読書活動の取組のより一層の充実を図り、読書につながり、本にしたしみ、その輪をひろげていくことを目指してまいります。一人でも多くの市民が読書に親しみながら、子どもたちが健やかに成長できるよう環境づくりを進めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、ご協力いただいた市民及び関係者の方々に厚くお礼を申し上げます。

令和7年4月

摂津市教育長 若狭 孝太郎

目 次

第1章 第5次摂津市子ども読書活動推進計画の策定にあたって-----	1
1. 計画策定の目的-----	1
2. 国・大阪府の動向-----	1
3. 計画の位置づけ-----	2
4. 計画の対象と期間-----	2
第2章 第4次計画の取組の成果と課題-----	3
1. 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進-----	4
(1) 家庭における読書活動の推進-----	4
(2) 地域における読書活動の推進-----	6
(3) 学校における読書活動の推進-----	8
2. 子どもの読書活動の啓発・広報活動の推進-----	11
3. 子どもの読書環境の整備と充実-----	13
4. 子どもの読書活動に関わる人材の育成・活動支援-----	17
5. 子どもの読書活動推進のための関係機関などとの連携-----	18
第3章 第5次摂津市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方-----	19
1. 計画の3つの柱と読書活動推進の考え方-----	19
2. 計画の施策体系-----	20
第4章 子ども読書活動推進のための具体的な取組-----	21
1. 読書へのつながり-----	21
2. 読書へのしたしみ-----	23
3. 読書のひろがり-----	24
4. 成果指標-----	25
＜参考資料＞	
第5次摂津市子ども読書活動推進計画の策定に関するアンケート調査結果-----	26

第1章 第5次摂津市子ども読書活動推進計画の策定にあたって

1. 計画策定の目的

子どもの読書活動の推進に関する法律では、「子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造性を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことができないものである」との基本理念を示しています。

全国学力・学習状況調査※によると、摂津市の公立の小中学校の児童・生徒における「普段、1日にまったく読書をしない割合」は児童38.9%、生徒51.3%と、いずれも全国平均（児童24.5%・生徒36.8%）及び大阪府平均（児童29.7%・生徒45.3%）より高い割合となっており、子どもの読書離れが進んでいる状況にあります。

本市では、「第4次摂津市子ども読書活動推進計画」の計画期間満了に伴い、これまでの取組の成果と課題及びこの間の社会状況の変化を踏まえ、より多くの子どもたちが読書に親しむことができる環境づくりを行うため「第5次摂津市子ども読書活動推進計画（以下「本計画」という。）」を策定しました。

※全国学力・学習状況調査とは、学力の現状を把握し、教育の改善に役立てることを目的とし、小学6年生と中学3年生を対象に、国語や算数・数学などの学力を測る文部科学省の調査。

2. 国・大阪府の動向

国では、子どもの読書活動に関する施策を総合的に策定するため、平成13年に制定した「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づき、平成14年に「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」（第一次）を策定し、その後、平成20年第二次計画を策定して以降、5年ごとに計画の見直しが行われ、令和5年には第5次計画を策定しています。

第5次計画では、「不読率の低減」「多様な子どもたちの読書機会の確保」「デジタル社会に対応した読書環境の整備」「子どもの視点に立った読書活動の推進」の4つの基本方針を定め、すべての子どもたちが読書活動の恩恵を受けられるよう取組を進めています。

大阪府では、国の計画策定を踏まえ、平成15年に「大阪府子ども読書活動推進計画」（第1次）を策定し、平成23年に第2次計画を策定、その後5年ごとに見直しを行い、令和3年に第4次計画を策定しています。

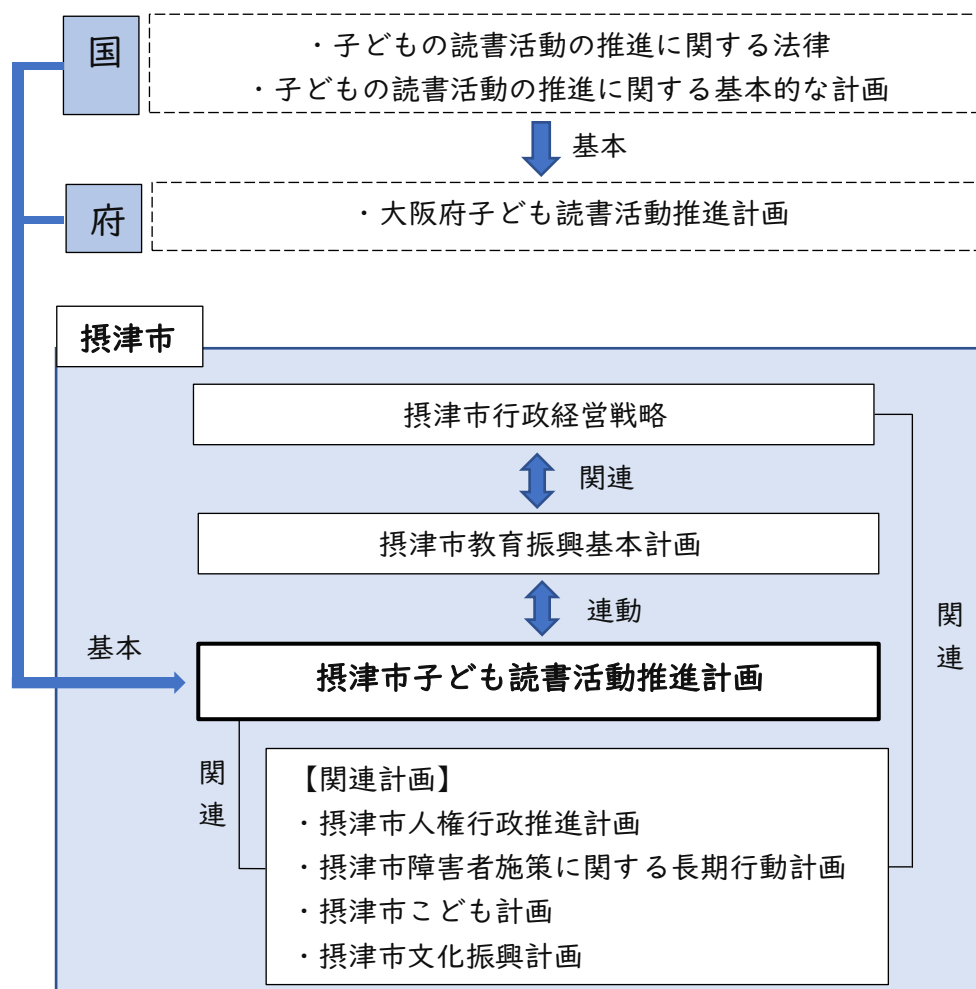
第4次計画では、発達段階や生活の場に応じて、全ての子どもが読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、自ら楽しみながら読書活動を行うことができるよう、大阪府全体で環境整備の推進に取り組んでいます。

3. 計画の位置づけ

本計画は、子どもの読書活動の推進に関する法律第九条第二項に基づき、国が策定する「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」及び大阪府が策定する「大阪府子ども読書活動推進計画」を基本として策定しています。

また、本市の上位計画「摂津市行政経営戦略」や教育振興を図るため策定している「摂津市教育振興基本計画」、その他関連計画と連携を図りながら施策を推進していきます。

【計画の位置づけ】



4. 計画の対象と期間

子どもの読書活動の推進に関する法律第二条では、子どもを「おおむね十八歳以下の者」と定義していることから、本計画では0歳からおおむね18歳までを対象年齢とします。また、計画期間は令和7年4月から令和12年3月までの5年間とします。

第2章 第4次計画の取組の成果と課題

第4次計画では、家庭や地域、学校などがそれぞれ連携・協力して、子どもの成長に合わせて必要な読書の機会が提供できるよう、次の5項目を目標に取組を進めました。

【第4次計画の目標】

1. 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進
2. 子どもの読書活動の啓発・広報活動の推進
3. 子どもの読書環境の整備と充実
4. 子どもの読書環境に関わる人材の育成・活動支援
5. 子どもの読書活動推進のための関係機関などとの連携

また、第4次計画の成果と課題を把握するため、乳幼児の保護者と小中学生を対象にアンケート調査を実施しました。（調査結果の詳細は、巻末の参考資料「第5次摂津市子ども読書活動推進計画策定に関するアンケート調査」を参照ください）

【第5次摂津市子ども読書活動推進計画策定に関するアンケート調査概要】

■調査期間：令和6年10月9日から令和6年10月31日まで

■対象及び対象者数（令和6年10月1日時点）

依頼先	対象者 (対象者数)	回答者数	回答率
摂津市立子育て総合支援センター (こども園)	保護者 (293人)	87人	29.7%
摂津市立べふこども園			
摂津市立とりかいこども園			
市内小学校10校	全児童 1年生～6年生 (4,173人)	3,467人	83.1%
市内中学校5校	全生徒 1年生～3年生 (1,999人)	1,215人	60.8%

■アンケートの数値について

各項目の％は、小数点以下を四捨五入しています。

1. 家庭・地域・学校などにおける子どもの読書活動の推進

(1) 家庭における読書活動の推進

家庭における読書活動は、子どもの育ちに大きな役割を果たしていることを再認識しながら、保護者自身も読書を楽しんでもらえる環境づくりに向け、次の取組を行いました。

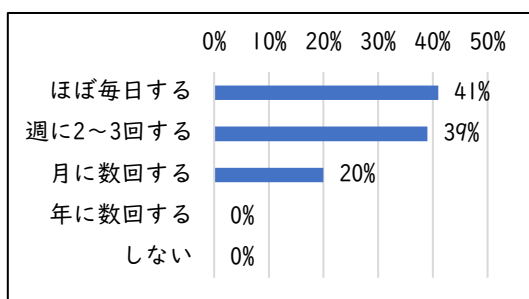
主な取組内容
・ブックスタート事業として、4か月児健診などの機会に絵本の読み聞かせを行い、家庭における読み聞かせの大切さを働きかけるとともに絵本と啓発リーフレットを配布しました。 ・乳幼児向け図書を購入し、市立図書館や公民館等における蔵書の充実に努めるとともに、乳幼児を対象としたおはなし会を実施しました。 ・各年齢に応じた「おすすめ絵本」の紹介冊子を市立図書館・公民館・こども園等に配布しました。 ・公立認定こども園で絵本の貸出を行うとともに、クラスだよりで年齢別のお勧めの本を紹介しました。



取組成果
取組の結果として、アンケート調査では、各家庭において月に数回以上の読み聞かせが行われており、95%の保護者が読み聞かせをすることが大切だと思っているなど、読書習慣が定着してきている様子が分かりました。

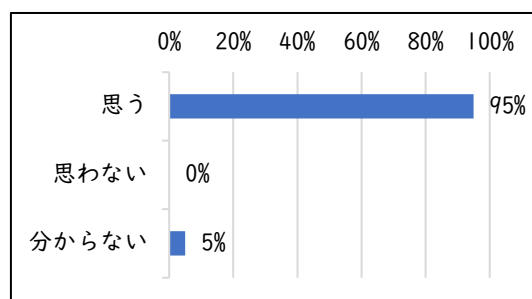
【アンケート調査質問】

ご家庭でお子様に読み聞かせをしますか。



【アンケート調査質問】

乳幼児期（小学校就学前の子ども）に読み聞かせをすることは大切だと思いますか。



課題と今後の展望

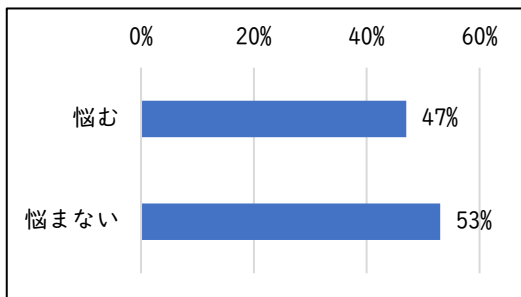
多くの保護者が、子どもの読書活動に関心を持っていることが分かりましたが、読み聞かせをする中で、「どのような本を読み聞かせれば良いか悩む」と回答した保護者が約半数を占めています。

読書の重要性を伝える講座や、読み聞かせにおすすめの絵本を施設に配布していますが、アンケート調査では、図書館へ訪れる頻度は年に数回以下と回答する世帯が70%で、「家事や育児、仕事で時間がない」との理由が34%と一番高い割合となっているほか、「子どもと一緒にいくと周りに気を遣ってしまうから」との理由も認められます。

今後は、各家庭における読書活動をサポートするため、読書活動に関する講座情報のPR強化や、子どもの声を気にすることなく気軽に図書館を利用できる環境づくりに取り組んでいく必要があります。

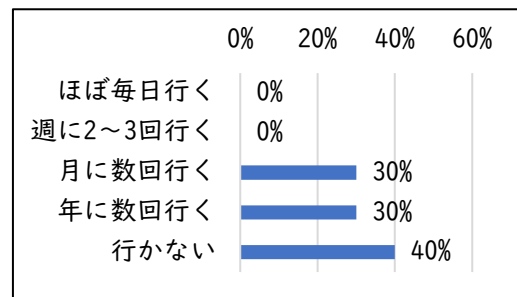
【アンケート調査質問】

お子様の年齢に応じてどのような絵本を読み聞かせればよいか悩みますか。



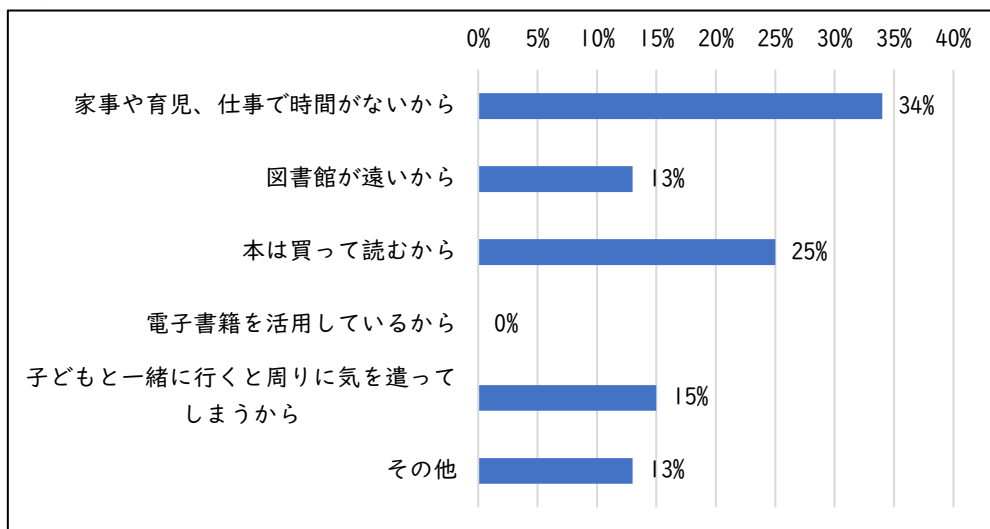
【アンケート調査質問】

図書館はどのくらい利用されますか。



【アンケート調査質問】

図書館に行かない理由を教えてください。



(2) 地域における読書活動の推進

図書館は子どもたちの健全な育ちに大きな役割を担っている地域の読書活動の重要な拠点であるため、子どもたちが本に興味を持ち、本に親しみ、自主的に読書ができるような環境づくりを行いました。

また、公民館などの公共施設は、子どもたちが安心してすごせる居場所であり、身近な地域で手軽に本に触れる機会を提供できる重要な拠点であるため、読書活動の機会の提供を進めるため、次の取組を行いました。

主な取組内容
・ 電子図書館を導入し、館内 Wi-Fi を整備しました。 ・ 電子図書館の導入や音声図書及び点字図書を大阪府や他自治体から借用、学校への多言語資料の提供をとおり、様々な子どもたちに配慮した読書環境づくりに取り組みました。 ・ 読書に親しむきっかけづくりとして、児童・生徒を対象に、ビブリオバトルやブックトーク等のイベントを開催しました。 ・ 公民館のブックコーナーの蔵書の充実に努めました。



取組成果
取組の結果、図書館の予約・貸出冊数推移は、それぞれ細かい増減はあるものの、全体を通してみると、過去4年間で大きな増加が見られます。 また、電子図書館の導入により、利便性が向上しました。そして、図書館や公民館のブックコーナーの利用促進のため、それぞれの施設にて特集コーナーを設けるなどして、読書の楽しさを伝えてきました。

課題と今後の展望
図書館の登録者数は年々減少傾向にありますが、予約冊数は増加傾向にあることから、普段から図書館に親しんでいる市民の貸出冊数は増加しているものの、新規登録者が減少しており、図書館を訪れる子どもが少ないことも要因の一つとして考えられます。 そのため、子どもが読書を楽しむきっかけづくりや、図書館を訪れる機会を増やす取組が必要となります。広報活動に力を入れるとともに、子どもが興味を持てるようなイベントの実施や、友達と一緒に楽しめることをテーマとした環境づくり等、時代に沿った様々な観点から興味を引き込むことが重要です。 他にも、図書館において、子どもの居場所づくりや、調べ学習の支援など小中学生のニーズに合ったアウトリーチサービスの拡充をとおり、子どもたちが気軽に本に触れることができるような読書環境づくりが重要です。

図書館予約冊数等推移（図書館年報より抜粋）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
貸出冊数	265,257 冊	305,064 冊	334,939 冊	330,609 冊
予約冊数	53,116 冊	64,432 冊	60,731 冊	61,194 冊
内ネット予約	44,597 冊	53,615 冊	50,348 冊	50,697 冊
前年度比	+3,206 冊	+11,316 冊	-3,701 冊	+463 冊

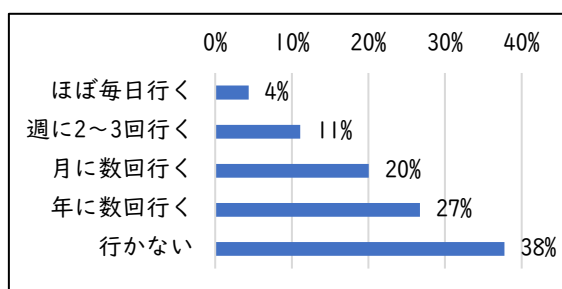
図書館利用者推移（図書館年報より抜粋）

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
登録者数	14,287 人	13,720 人	13,273 人	12,565 人
前年度比	-749 人	-567 人	-447 人	-708 人

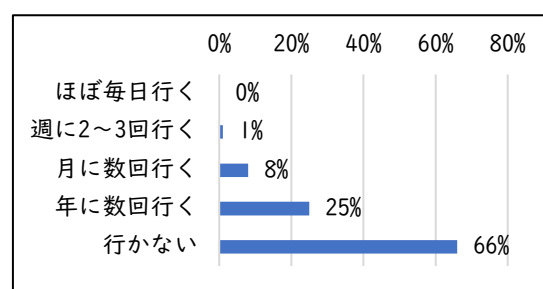
【アンケート調査質問】

まちの図書館にはどのくらい行きますか。

【小学生】



【中学生】



(3) 学校における読書活動の推進

学校は、すべての子どもたちが日中の長い時間を過ごし、授業や自由時間を通して本に親しむことができる場であることから、学校図書館における学校読書活動推進支援員を中心に、司書教諭の協力のもと、次の取組を行いました。
※学校読書活動推進支援員とは、小学校の図書館の運営及び児童の読書活動の支援をする職員です。

主な取組内容
・朝の読書活動や読書タイム、朝読書用図書を備えるなど、読書活動を推進するための取組を行いました。 ・児童・生徒を対象に、市立図書館における業務の体験学習を行いました。 ・障害のある子どもたちに配慮した学校図書館資料の選定と読書活動支援に取り組みました。 ・学校読書活動推進支援員を全小学校に配置し、学校図書館の蔵書整理、図書啓発のためのポスター等の制作や市立図書館との相互利用に取り組みました。 ・複数校の学校図書館において月に1回、市民図書館の本の貸出サービスを実施しました。 ・「私のおすすめ本」の掲示、「読書感想文コンクール」への応募、ポップによる本の紹介等、児童会や生徒会による読書の推進活動を行いました。また、一部の小学校では、国語科の学習を生かし、子どもたちが「おすすめの本」を紹介し合ったり、低学年に読み聞かせをしたりするなどの取組も行いました。

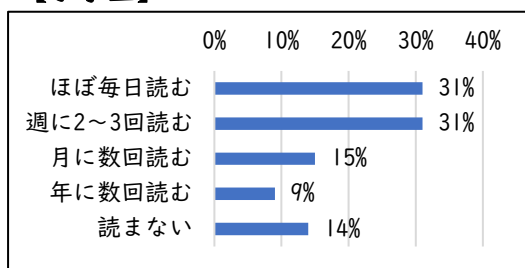


取組成果
子どもが読書を楽しめるよう、様々な取組を実施しました。また、各関係機関や、市内の学校図書担当者と市教育委員会の図書担当者で情報共有を実施し、各学校で参考としました。 週に2～3回以上本を読む割合が、小学生で62%、中学生で27%となっています。読書をする小学生が多い要因の一つとして、各小学校に配置している学校読書活動推進支援員が中心となって読書活動を推進していることや、夏季休業中も学校図書館を開館する等の取組を実施していることなどが考えられます。

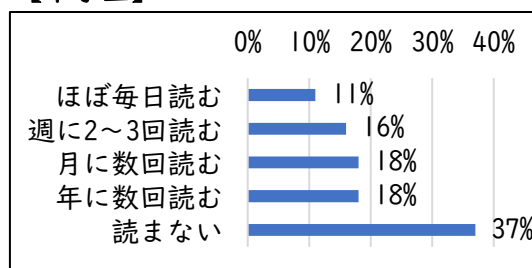
【アンケート調査質問】

どのくらい本を読みますか。

【小学生】



【中学生】



課題と今後の展望

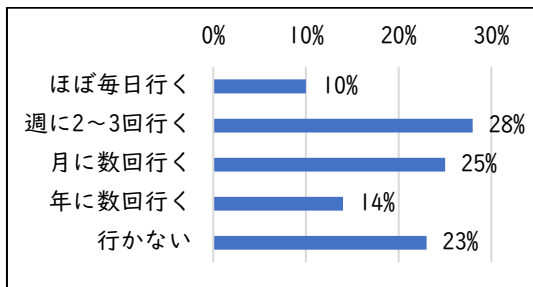
進学するにつれて本を読む子どもが減少することが大きな課題です。中学生が本を読まない理由として、「友達と遊ぶから」や「本が好きではないから」などが挙げられます。また、近年急速に成長するインターネット技術の影響により、動画やゲームなど、中高生の興味を惹きやすいものが多いことも要因として考えられます。

今後の学校図書館においても市立図書館と同様、子どもたちが気軽に来館できような居場所づくりを行うとともに、より本に興味を持つことができる空間づくり、イベントを検討する必要があると考えます。また、「児童・生徒が主体となった魅力的な図書館づくり」をテーマにした図書館の空間づくりに努める必要があります。

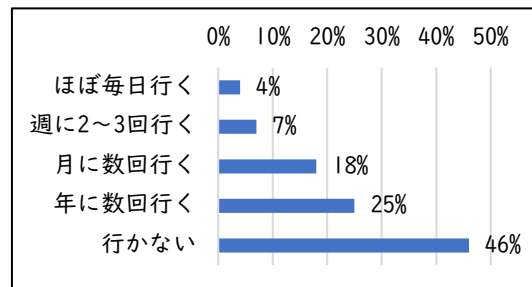
【アンケート調査質問】

学校の図書室にはどのくらい行きますか。

【小学生】



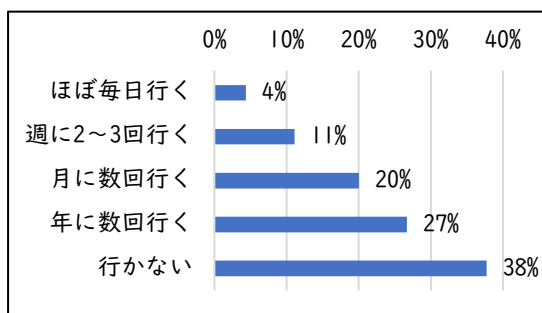
【中学生】



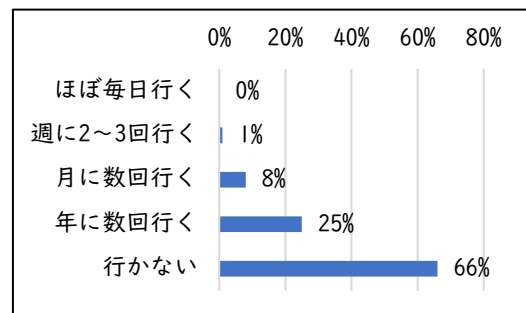
【アンケート調査質問】

まちの図書館にはどのくらい行きますか。（再掲）

【小学生】



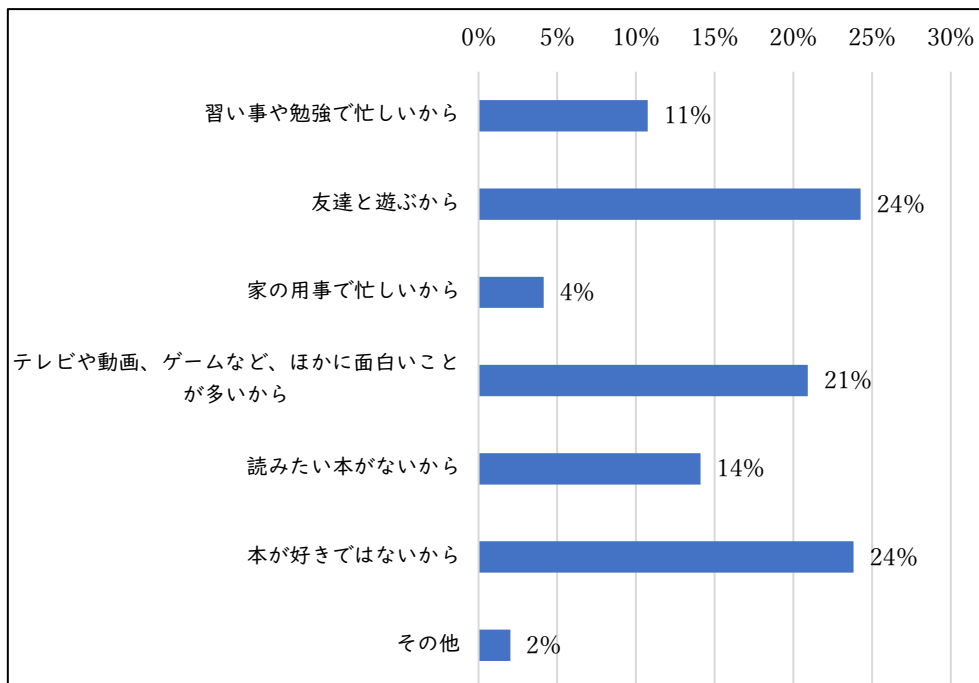
【中学生】



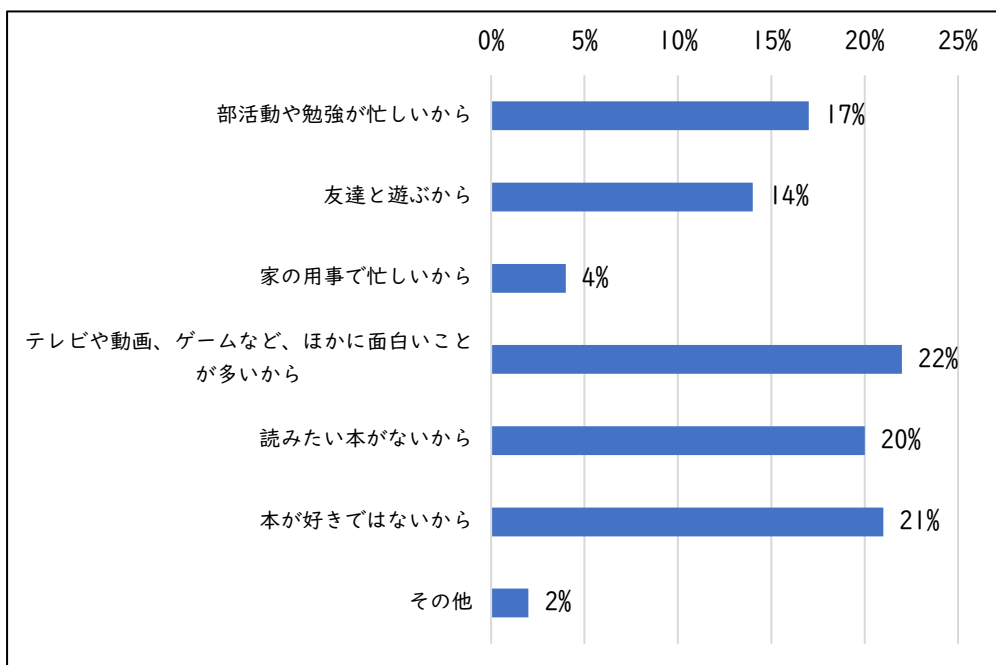
【アンケート調査質問】

本をあまり読まない理由を教えてください。

【小学生】



【中学生】



2. 子どもの読書活動の啓発・広報活動の推進

家庭、地域、学校などにおける子ども読書活動を推進していくために、市全体で読書活動への機運が高まるよう、子どもや親子が集まるイベントを含む、次の取組を行いました。

主な取組内容
・絵本の紹介や読み聞かせの重要性の啓発を行いました。 ・学校図書館だよりなどを通じ、推薦図書を紹介するとともに、保護者に家庭での読書活動の重要性を啓発しました。 ・図書館ホームページ等を通して、おすすめ本やイベントの周知を行いました。 ・つどいの広場において、乳幼児の親子教室などで年齢に応じた読み聞かせを実施しました。また、毎月「乳幼児の読み聞かせのおすすめ絵本」を紹介し、読み聞かせの重要性を含め啓発しました。

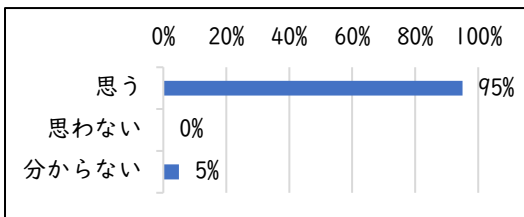


取組成果
多くの保護者や子どもが、読書をすることや読み聞かせをすることを大切だと認識しており、これまで様々な場所で実施してきた読書の重要性に関する広報活動の成果が反映されているものと考えます。

【アンケート調査質問】

読み聞かせをすることは大切だと思いますか。

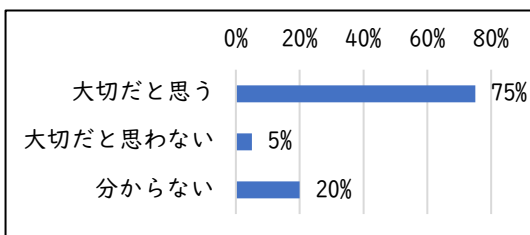
【就学前保護者】



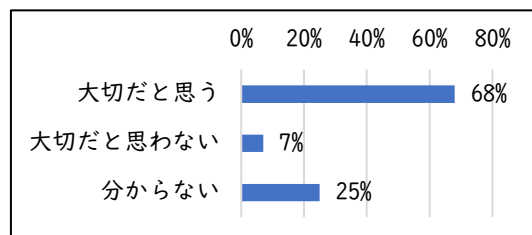
【アンケート調査質問】

読書をすることは大切だと思いますか。

【小学生】



【中学生】



課題と今後の展望

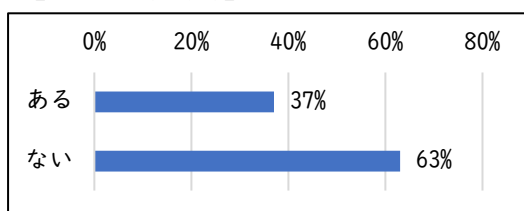
概ね大半の保護者や子どもが読書を大切だと感じている一方で、イベントに参加したことがある保護者は少なく、特に子どもたちのイベント参加が少ないことが分かりました。

今後は読書に興味がない、好きではない子どもたちに、まずは本との出会いを提供できるよう、イベント内容の見直しや、子どもたちの興味を引くような情報発信を強化し、読書の大切さを伝えていく必要があります。

【アンケート調査質問】

図書館で、おはなし会や読み聞かせ講座、映画会等のイベントへ参加されたことはありますか。

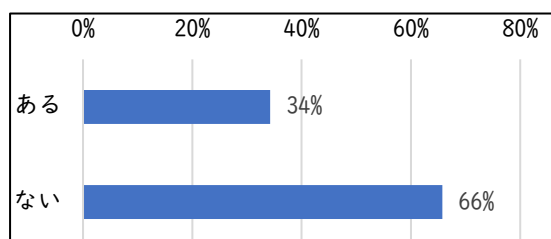
【就学前保護者】



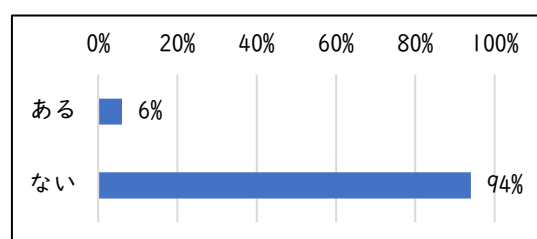
【アンケート調査質問】

学校の図書室でのイベントには参加したことがありますか。

【小学生】



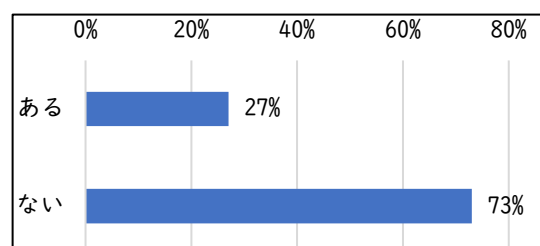
【中学生】



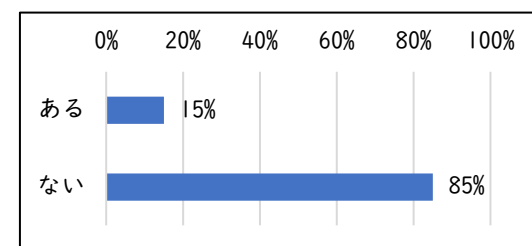
【アンケート調査質問】

まちの図書館のイベントに行ったことはありますか。

【小学生】



【中学生】



3. 子どもの読書環境の整備と充実

市内の子育て支援施設、図書館、公共施設、学校で子どもが常に本に接することができるよう、次の取組を行いました。

主な取組内容
・絵本、読み物以外に知識や趣味の本など、多様な資料を収集しました。 ・本を身近に感じてもらえる図書スペースの確保やディスプレイの工夫を行いました。 ・「体験学習」「図書館見学」「ぬいぐるみお泊り会」など、子どもたちが図書館へ来館するきっかけとなるイベントを実施しました。 ・中高生に人気のある図書の充実に努めました。 ・図書館内の蔵書の配置換えやレイアウトを変更しました。 ・公立認定こども園で絵本の冊数を増やすとともに、市内民間保育所等の絵本の購入費用に対する補助を行いました。

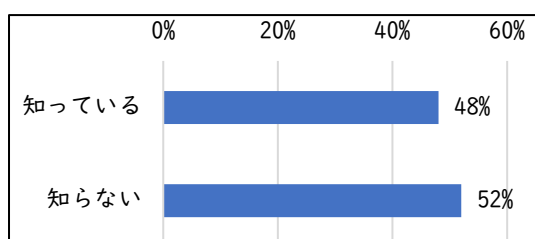


取組成果
様々な場所で本に触れることができるよう取り組みました。その結果、約半数の子どもが公共施設で受け取りや返却ができることを認知していることがわかりました。そして、予約冊数や貸出冊数についても増加しており、上記取組の成果を伺うことができ、図書サービスが一定浸透している状況がうかがえます。

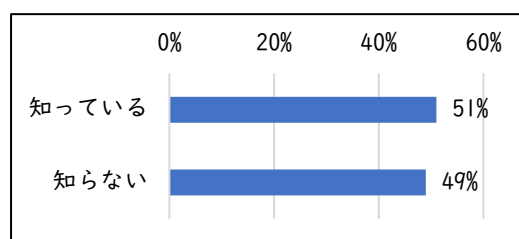
【アンケート調査質問】

図書館で予約した本を市内の公民館（こうみんかん）や公共施設（こうきょうしせつ）で受け取りや返却（へんきゃく）ができることを知っていますか。

【小学生】



【中学生】



課題と今後の展望

市内の公共施設において、本に触れることができる環境づくりに取り組んできましたが、学校図書館や読書活動の拠点となる図書館への子どもの利用頻度が低いことが課題となっています。

児童・生徒ともに、学校図書館へ行かない理由として、「友人と遊ぶことが多いから」が最も多く、次いで「読みたい本が少ない」「本が好きではない」となっており、児童・生徒のニーズに応えた蔵書の充実や、学校図書館に行くことに興味を持つような仕掛けが必要です。

また、図書館に行かない理由として注目されるのが「テレビやスマートフォンを見て過ごすことが多いから」との回答が多いことです。中学生に進学するにつれ、SNS等の利用頻度が増える傾向にあり、読書離れが進んでいる要因の一つとなっているものと考えられます。

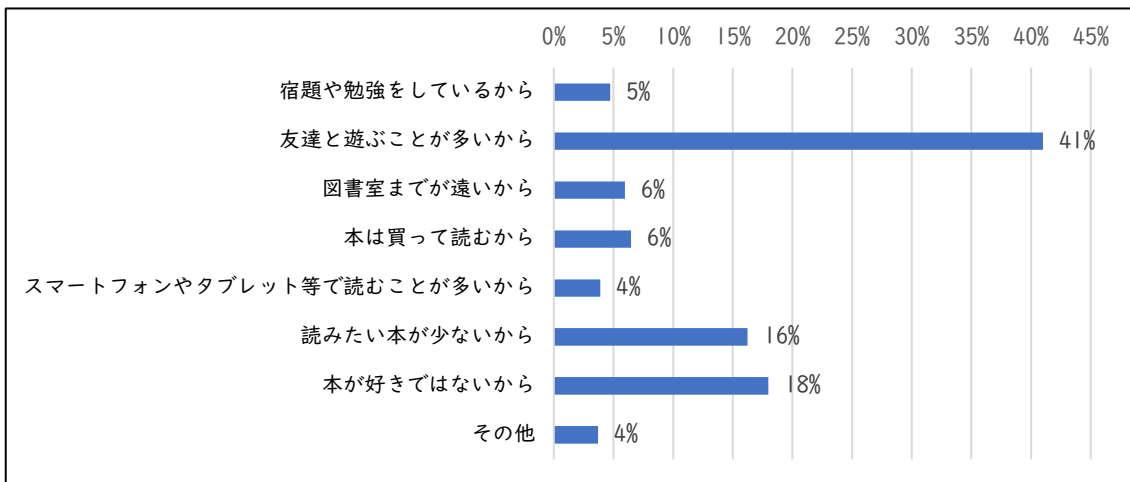
一方、楽しい本がたくさんあったり、本が充実していることで、図書館に行きたくなるとの回答が多いことや、友達と会話ができたり、宿題や勉強ができる環境を求めている声も多いことが分かりました。

今後は、多くの子どもが読書に親しむためのきっかけ作りとして、興味を持てるようなイベントの実施や多様な図書館サービス充実について検討が必要であり、また、楽しく読書をすることができる居場所づくりや、自宅や学校で読書活動を気軽に楽しむことができるようなアウトリーチサービスを実施していく必要があります。

【アンケート調査質問】

学校の図書室に行かない理由を教えてください。※複数回答可。

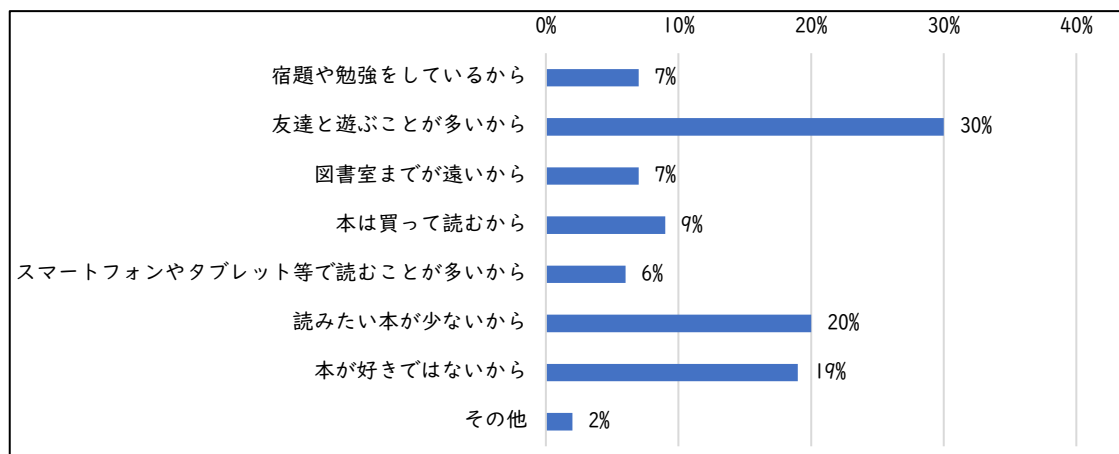
【小学生】



【アンケート調査質問】

学校の図書室に行かない理由を教えてください。※複数回答可。

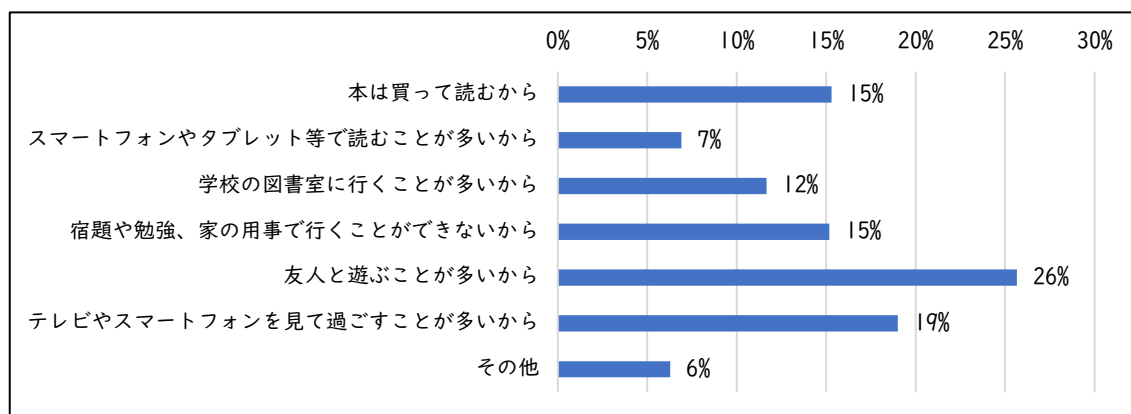
【中学生】



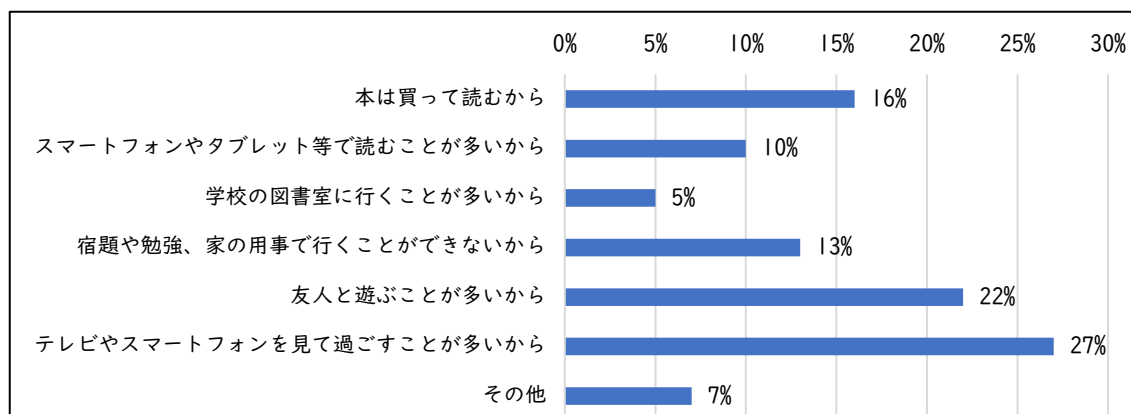
【アンケート調査質問】

まちの図書館をあまり利用しない理由を教えてください。

【小学生】



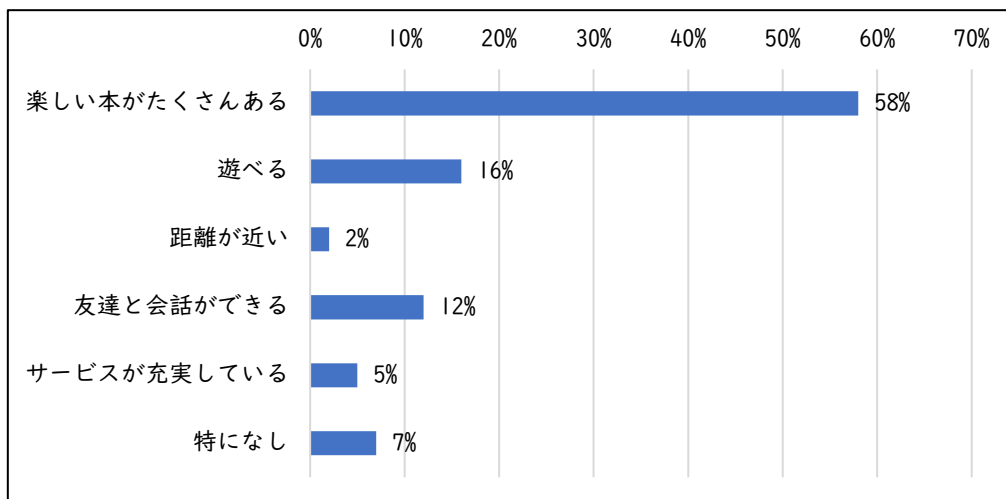
【中学生】



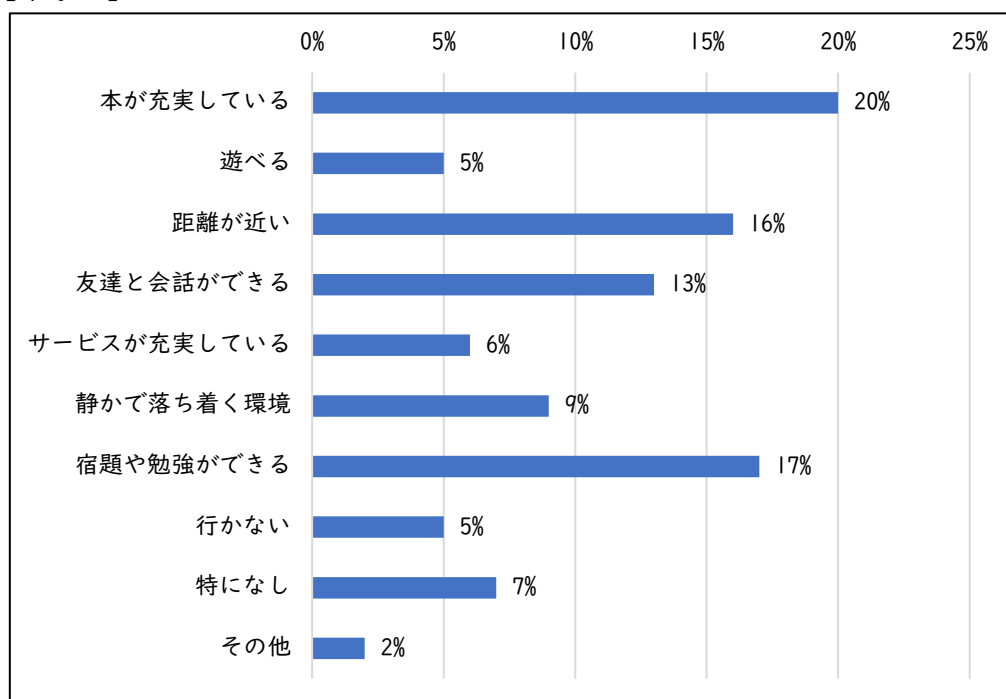
【アンケート調査質問】

どのような図書館なら行きたくなりますか。

【小学生】



【中学生】



4. 子どもの読書環境に関わる人材の育成・活動支援

子どもの読書活動に関わる人材の育成と活用に努めるため、次の取組を行いました。

主な取組内容
・市立図書館等で絵本の読み聞かせを行っているボランティア団体に場所や本を提供し、幼児・児童の読書活動を推進しました。 ・多様化する読書相談や調べ物に的確に対応し、子どもたちの読書活動を支援できる人材を養成するため研修会を実施し、図書館職員の育成に努めました。 ・読書に関する研修会や講演会への参加を通して子ども関連施設職員の意識向上を図りました。



取組成果
読み聞かせを行っているボランティア団体と協力体制を築くことで図書館のおはなし会の充実を図ることができました。また、図書館職員に向けて研修を継続して実施することで、図書館サービスの維持・向上に努めました。結果として、図書館の利用者満足度調査による「職員対応に関する満足度」は高水準を維持することができました。

【質問】図書館をまた利用したいと思いましたか。（図書館利用者アンケート抜粋）

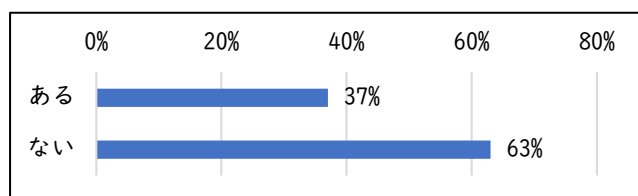
年度	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年
満足度	項目なし	85.1%	86.2%	86.8%
前年度比	項目なし	前年度比無	+1.1%	+0.6%

課題と今後の展望
ボランティア団体とおはなし会等のイベントを通して協力体制を築いてきましたが、イベントに参加したことがない家庭が多数を占めており、ボランティア団体とイベントに対する効果や課題を共有できていないことが考えられます。 今後は、ボランティア団体とおはなし会等のイベントに関して意見交換を行う場を設け、イベント内容の充実に努めていく必要があります。

【アンケート調査質問】

図書館で、おはなし会や読み聞かせ講座、映画会等のイベントへ参加されたことはありますか。

【就学前保護者】



5. 子どもの読書活動推進のための関係機関などとの連携

子どもの読書活動の推進に向け、様々な関係機関や団体と連携し、次の取組を行いました。

主な取組内容
・図書館と学校との連絡体制を強めるため、学校図書担当者会議を実施しました。 ・子どもの読書活動推進について、大阪公共図書館協議会で情報交換を行いました。 ・4か月児健診で配布する絵本について、図書館司書と連携し選定しました。 ・子育てに関わる機関で構成される「子育て支援ネットワーク推進会議」の取組として、絵本の読み聞かせイベントを開催しました。



取組成果
児童・生徒の読書活動を推進するうえで重要となる学校図書担当者と市立図書館職員との会議の場を設けることで、互いの役割を補完するための情報共有を行うことができました。

課題と今後の展望
学校図書担当者との会議で話し合った内容を実行に移していくことが必要です。 また、同じように、子育てに関わる機関やボランティア団体と情報共有する場を設けてはいるものの、協働で実施している取組が少なく、個々に事業を展開している状況にあります。 今後は、家庭・地域・学校それぞれの関係機関と協働で行う取組の充実を図っていく必要があります。

第3章 第5次摂津市子ども読書活動推進計画の基本的な考え方

1. 計画の3つの柱と読書活動推進の考え方

大阪府では、発達段階や生活の場に応じて、全ての子どもが読書への興味・関心を高め、必要な知識を得るとともに、自ら楽しみながら読書活動を行うことができる環境整備をすることを基本方針に、読書活動の推進に取り組んでいます。

これらを踏まえたうえで、第4次計画の取組の成果とアンケート調査から得られた課題を基に、家庭や地域、学校がそれぞれ連携・協力して、子どもの成長に合わせて必要な読書の機会が提供できるよう、以下の「3つの柱」に示す考え方を掲げ、段階的に読書活動推進の取組を進めます。

【読書へのつながり】

子どもたちが最初に本に触れ合う機会を持つには、保護者などまわりの大人たちによる働きかけが重要となります。「読書へのつながり」を持つための家庭における読書活動の習慣化であり、特に幼稚園、保育園、学校で、それぞれの年齢に応じて興味を持てる本との出会いの場をつくることが重要です。

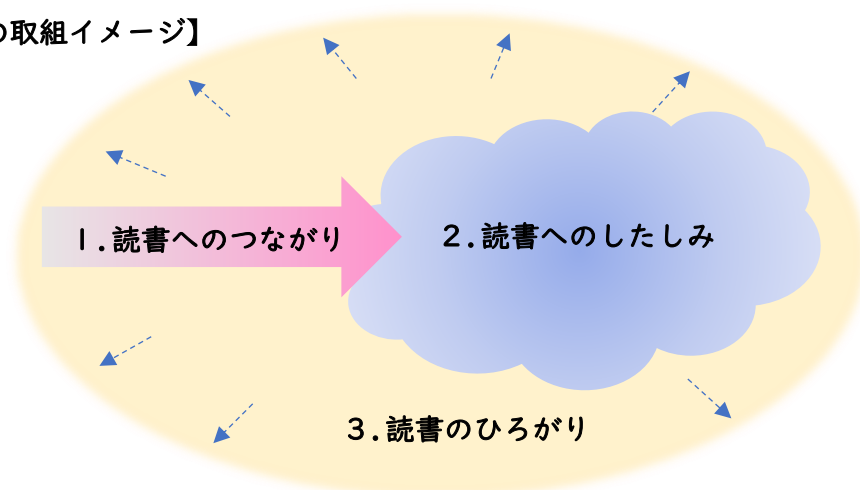
【読書へのしたしみ】

読書へのつながりを持つことができた後、大切になるのは、本の魅力を知り、本を好きになってもらうことです。子どもの身近な場所で様々な本を提供できる環境の整備や本の面白さを伝える啓発活動を行っていくことで、本を読むことの習慣化につながります。

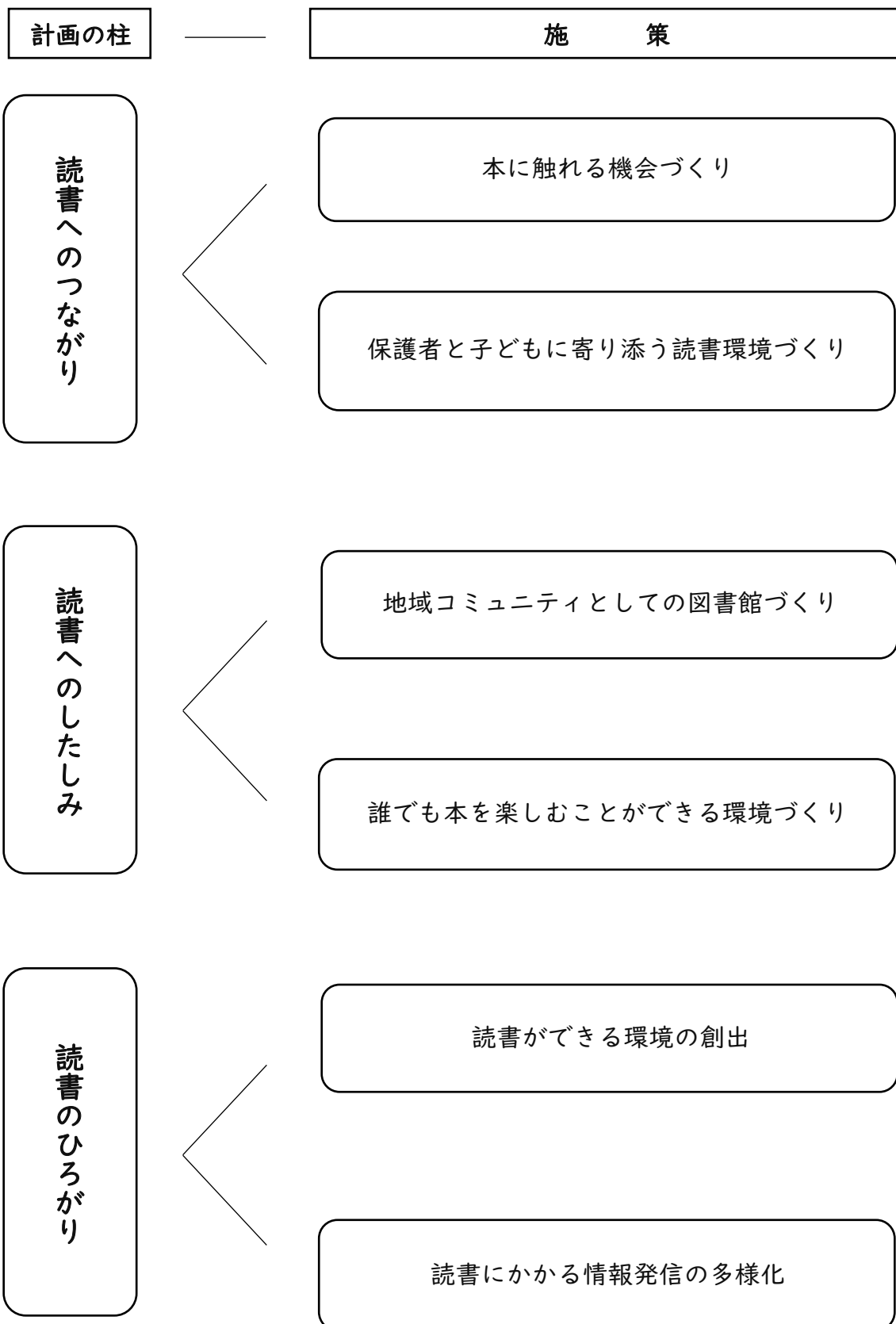
【読書のひろがり】

子どもの読書活動を推進していくためには、子どもの読書環境を支える人たちとの協力体制を構築し、より多くの子どもたちが読書に親しめるよう、新たな取組の実施や、インターネットや電子機器を活用する等、違った視点から子どもたちの興味を引き込む取組を行っていく必要があります。

【読書活動推進の取組イメージ】



2. 計画の施策体系



第4章 子ども読書活動推進のための具体的な取組

本計画では、施策体系を基に、以下の取組を、乳幼児・児童・生徒それぞれの年齢に応じた形で実施します。

※表中、乳幼児を「乳」、児童を「児」、生徒を「生」と略します。

また、新規の取組については、取組内容に「★」を記載しています。

1. 読書へのつながり

家庭・地域・学校において、子どもの発達段階や個性に応じて、子どもたちが自然に本と出会うためのきっかけづくりや、本を読む楽しみが得られるような取組を行います。また、読書に苦手意識がある子どもや育児で忙しい保護者でも本に触れることができるよう環境整備を進めます。

施策	取組	対象者		
		乳	児	生
本に触れる機会づくり	4か月健診時に、絵本の無料配布と読み聞かせを行うブックスタート事業を継続して行う。	○		
	子育て支援施設へ出向いて行う出張おはなし会を継続して開催する。	○		
	公立認定こども園で絵本の貸出を行うとともに、クラスだよりで年齢別のお勧めの本を紹介する。	○		
	つどいの広場などにおいて、絵本の紹介や読み聞かせの重要性を啓発する。	○		
	就学前施設に図書館の本の団体貸出を行う。	○		
	乳幼児期の読み聞かせにおすすめの絵本を紹介したリーフレットなどを配布する。	○		
	学校において「朝の読書活動」や「読書タイム」などの読書に触れる取組を継続して行う。		○	○
	★市立図書館において、インターネットやスマートフォンを活用したゲーム感覚で楽しむことができ、本に触れることができるイベントを実施する。		○	○
	★児童・生徒が主体となった魅力的な学校図書館づくりに取り組む。		○	○
	児童や生徒に向けて「ビブリオバトル」や「職場体験」等の交流型かつ体験型のイベントを実施する。		○	○
	「子ども読書の日」に合わせて、関係機関と連携し講演会やイベントを開催する。	○	○	○

施策	取組	対象者		
		乳	児	生
保護者と子どもに寄り添う読書環境づくり	★小さな子どもを連れた保護者が、気を遣うことなく気軽に図書館を利用できるような図書館づくりを行う。	○		
	★学校図書館において、絵本や図鑑などを含めた子どもの人気図書の収集に努める。		○	○
	★子連れの保護者や子どもに優しい設備を導入する。	○	○	○
	★保護者や児童・生徒の読書にかかる疑問・悩みの解決に向けた支援を実施する。	○	○	○

2. 読書へのしたしみ

すべての子どもたちがいつでも読みたい本に触れ、いつでも読書に親しむことができるよう、地域コミュニティとしての図書館での取組を起点に、子どもの居場所作りや、子ども読書活動の推進に携わる人材の育成を行うなど、子どもの読書環境の整備・充実に向けた取組を推進します。

施策	取組	対象者		
		乳	児	生
地域コミュニティとしての図書館づくり	★読み聞かせボランティアグループなどのボランティア団体と意見交換をする場を設け、団体の考えや要望を取組に反映する。	○		
	★市立図書館等のスペースを使用し、子ども・若者が目標を持ち、様々な社会経験や交流ができる居場所を提供するよう努める。		○	○
	読み聞かせボランティアなどでの活動の参加を促進する。			○
	図書館において、関係機関と協働で、読書だけに留まらない福祉や健康など身近なテーマについての講座やイベントを開催する。	○	○	○
	★市民が主体となって子ども・若者が楽しめるイベントを検討する仕組みを作るなど、地域の活性化に努める。	○	○	○

施策	取組	対象者		
		乳	児	生
誰でも本を楽しむことができる環境づくり	市立図書館や学校図書館、その他公共施設にて、音声図書・点字図書・多言語資料などを収集し、様々な配慮が必要な子どもたちが読書を楽しめる環境づくりに取り組む。	○	○	○
	子どもたちが安心して読書を楽しむことができる環境を整備するため、図書館職員や教職員読書推進担当者、ボランティアグループに対して研修を継続して実施する。	○	○	○
	★施設のバリアフリー化を推進する。	○	○	○

3. 読書のひろがり

子どもの読書活動に関わる関係機関と連携し、子どもの読書環境の充実に向けた取組を行います。また、年齢に応じた周知・啓発活動を通じて、読書の魅力を効果的に伝えていきます。

施策	取組	対象者		
		乳	児	生
読書ができる環境の創出	市立図書館より、各小中学校へ子どもに人気のある本の貸出を行う。		○	○
	★学校図書館において、より多くの子どもが利用できるよう、授業時間以外での開館を実施するとともに、静かな読書環境の提供に努める。		○	○
	★学校図書担当者会議にて、情報共有を行い、特に中学生が興味を持てるようなイベントを新たに検討する。			○
	★子育て支援施設や学校、その他公共施設において、図書の一元管理することに努め、相互に補完することができるよう取り組む。	○	○	○
	★図書館に行かなくても読書を楽しめるよう、電子図書館の周知活動や、システムの拡充に取り組む。	○	○	○
	市内公共施設において、予約した本の受け取りや返却ができる拠点を増やし、身近に図書施設のない地域の人たちにも本に親しむ機会がより増えるように努める。	○	○	○

施策	取組	対象者		
		乳	児	生
読書にかかる情報発信の多様化	★講座やイベントの周知・啓発活動をする際、対象の年齢に応じて分かりやすく興味を持ってもらいやすい内容で行う。	○	○	○
	★対象の年齢に応じて、ホームページや広報誌、SNSなど様々な方法を使い分けて周知・啓発活動を実施する。	○	○	○

4. 成果指標

本市における第5次計画では、「第4次大阪府子ども読書活動推進計画」に基づき、一人でも多くの子どもが読書活動を行うことを目指し、以下の項目を成果指標に掲げることとします。

※それぞれの現状での項目別割合は
－参考資料－を参照（次ページ以降）

計画の柱		成果指標	目標指数
読書へのつながり	読書のひろがり	①乳幼児読書アンケートにて、「週に2～3回以上する」と回答した割合	85%
		②小学生読書アンケートにて、「月に数回以上読書をする」と回答した割合	82%
		③中学生読書アンケートにて、「月に数回以上読書をする」と回答した割合	50%
読書へのしたしみ		④乳幼児読書アンケートにて、「読み聞かせは大切だと思う」と回答した割合	100%
		⑤小学生読書アンケートにて、「読書は大切だと思う」と回答した割合	80%
		⑥中学生読書アンケートにて、「読書は大切だと思う」と回答した割合	73%

第5次摂津市子ども読書活動推進計画の策定に関するアンケート調査結果

調査概要

(1) 調査の目的

第5次子ども読書活動推進計画の策定に向け、本市の子どもたちの読書活動の現状や、第4次子ども読書活動推進計画で実施した取組に対する成果と課題を把握し、今後の子ども読書活動推進に必要な施策を検討する上で実施しました。

(2) 調査対象（令和6年10月1日時点）

依頼先	対象者 (対象者数)	回答者数	回答率
摂津市立子育て総合支援センター (こども園)	保護者 (293人)	87人	29.7%
摂津市立べふこども園			
摂津市立とりかいこども園			
市内小学校10校	全児童 1年生～6年生 (4,173人)	3,467人	83.1%
市内中学校5校	全生徒 1年生～3年生 (1,999人)	1,217人	60.9%

(3) 調査期間

令和6年10月9日から令和6年10月31日まで

(4) アンケートの数値について

各項目の％は、小数点以下を四捨五入しています。

1. 摂津市立こども園保護者向けアンケート結果

(1) こども園へ通所しているお子様の人数をお答えください。

項目	回答数
1人	87人
2人	12人
3人	0人
合計	99人

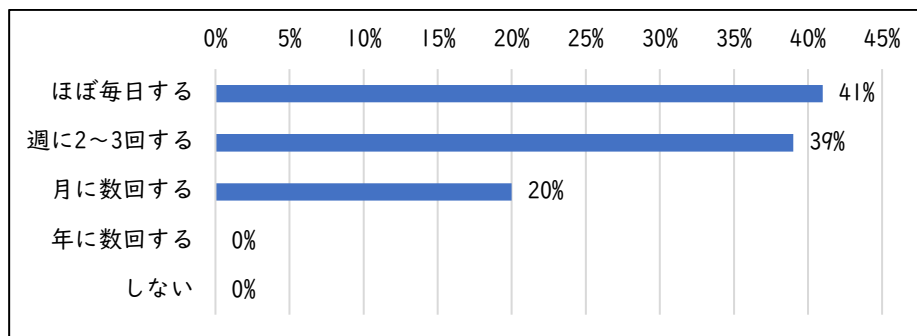
(2) お子様のご年齢を教えてください。

項目	回答数
0歳児	2人
1歳児	13人
2歳児	17人
3歳児	18人
4歳児	19人
5歳児	19人
6歳児	11人
合計	99人

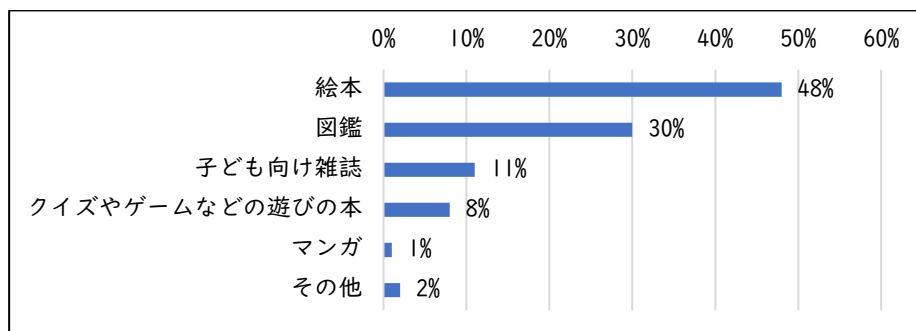
※園児が同じ家庭に複数いる場合は、1つの回答を人数分集計しています。

(3) ご家庭でお子様に絵本の読み聞かせをしますか。

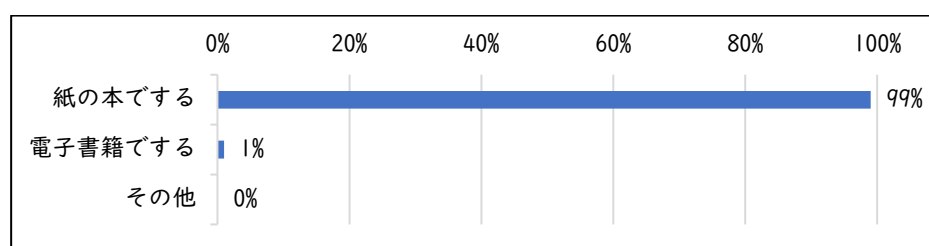
※読み聞かせとは、お子様と一緒に本を見たり、読んだりすることです。



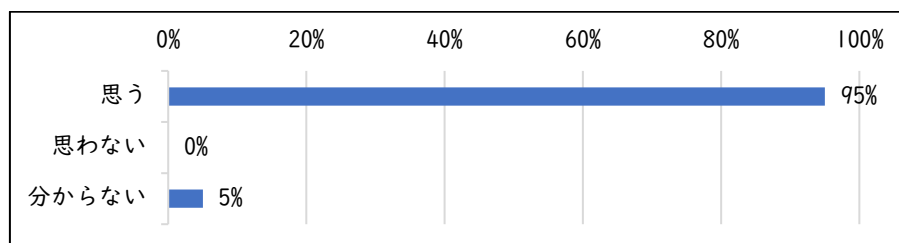
(4) お子様はどんな本が好きですか。※複数回答可。



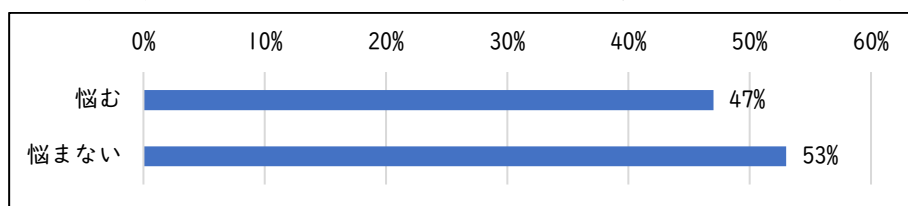
(5) 読み聞かせをするときは、紙の本でしますか。電子書籍でしますか。



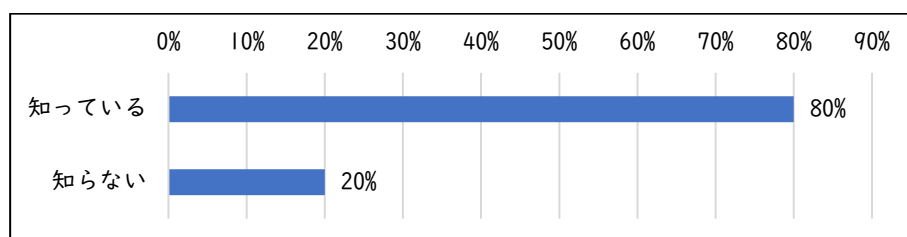
(6) 乳幼児期（小学校就学前の子ども）に読み聞かせをすることは大切だと思いますか。



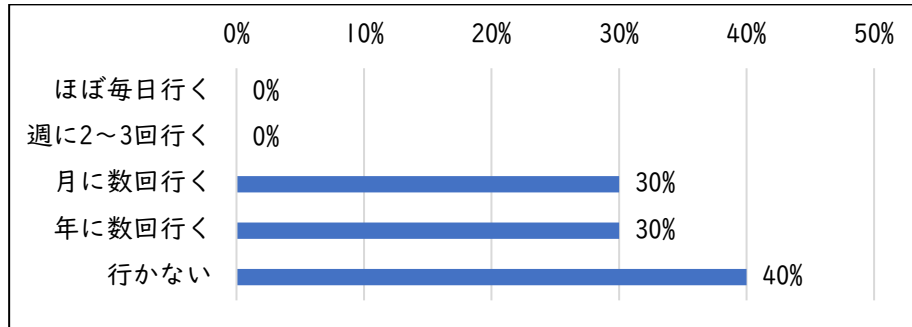
(7) お子様の年齢に応じてどのような絵本を読み聞かせればよいか悩みますか。



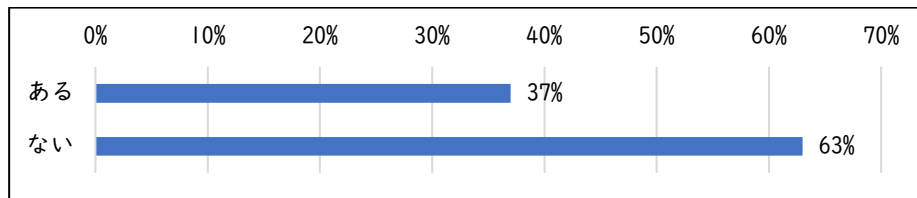
(8) 4 か月健診等でおすすめする絵本の紹介や配布を行っていることは知っていますか。



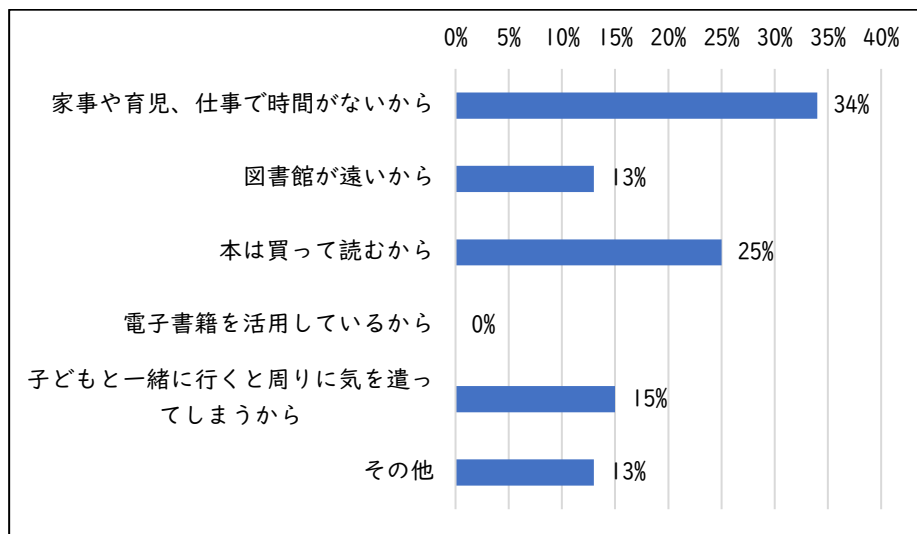
(9) 図書館はどのくらい利用されますか。



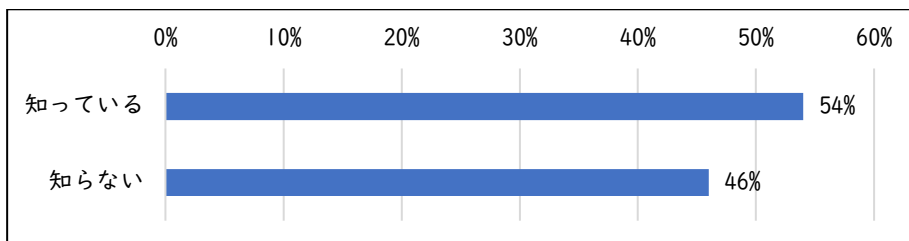
(10) 図書館で、おはなし会や読み聞かせ講座、映画会等のイベントへ参加されたことはありますか。



(11) 図書館に行かない理由を教えてください。



(13) 図書館で予約した本を市内の公民館や公共施設で受け取りや返却ができることを知っていますか。



2. 市立小学生向けアンケート結果

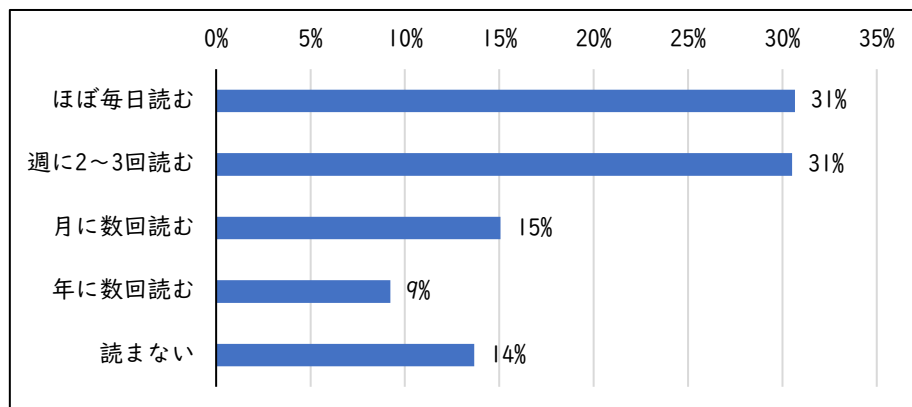
(1) あなたの通っている学校を教えてください。

学校名	回答数
摂津小学校	878 人
味舌小学校	479 人
鳥飼北小学校	278 人
鳥飼西小学校	268 人
千里丘小学校	400 人
三宅柳田小学校	443 人
別府小学校	299 人
味生小学校	161 人
鳥飼東小学校	90 人
鳥飼小学校	171 人

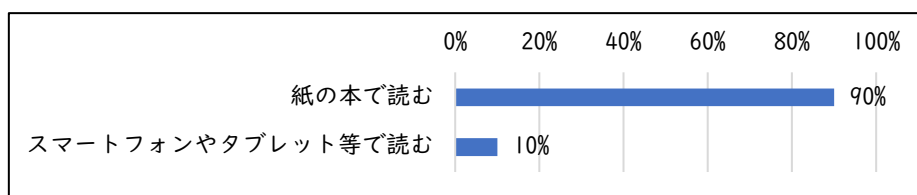
(2) 学年を教えてください。

学年	回答数
1 年生	526 人
2 年生	571 人
3 年生	648 人
4 年生	629 人
5 年生	601 人
6 年生	492 人

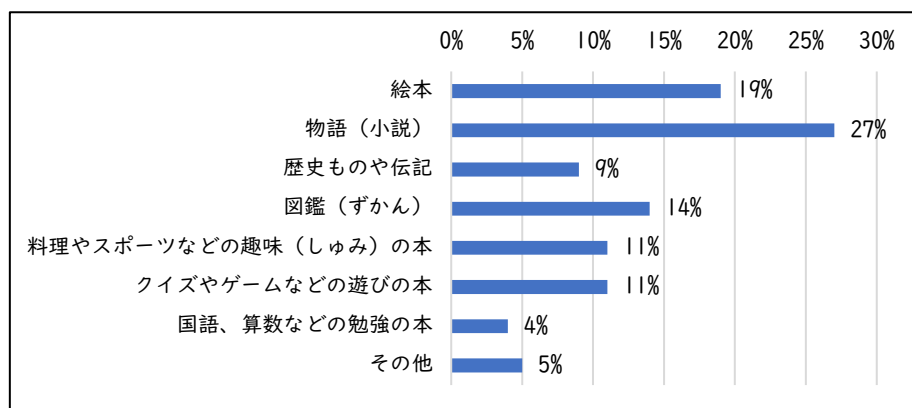
(3) どのくらい本を読みますか。※学校の授業（じゅぎょう）時間や漫画（まんが）を読んでいる時間は含（ふく）まれません。



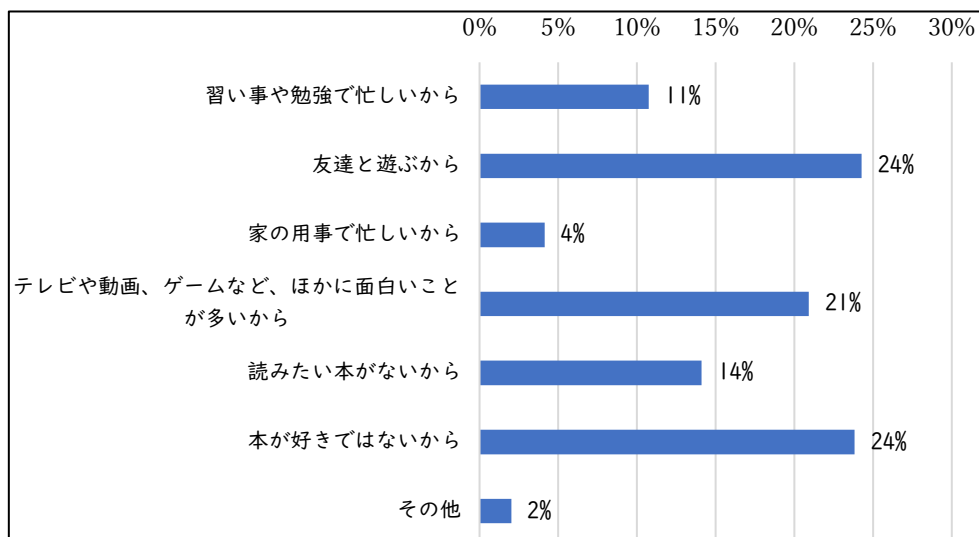
(4) 本を読むときは、紙の本で読みますか。スマートフォンやタブレット等で読みますか。※2 つ以上選んでいただいて構いません。



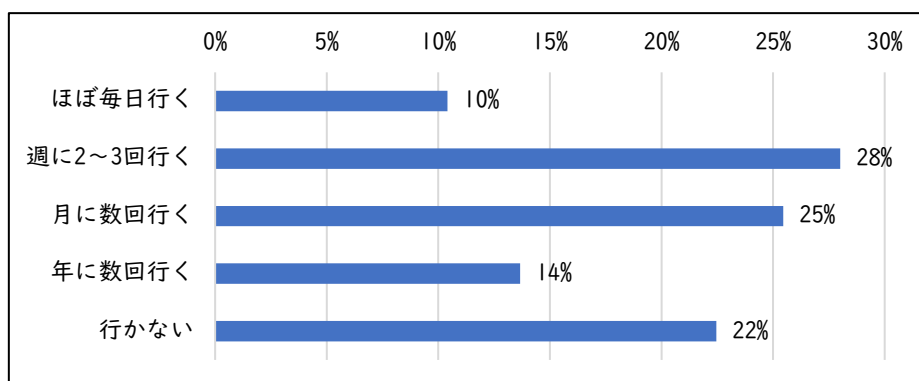
(5) どんな本を読みますか。※2 つ以上選んでいただいて構いません。



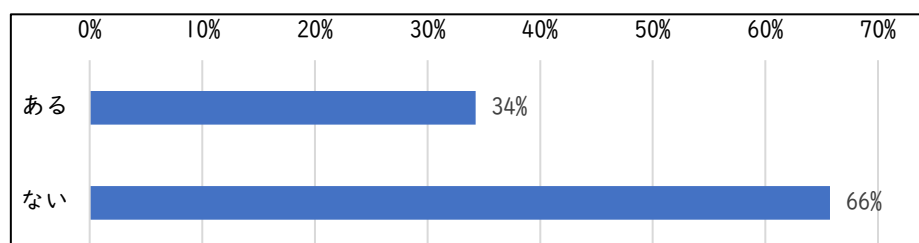
(6) 本をあまり読まない理由を教えてください。※2 つ以上選んでいただいて構いません。



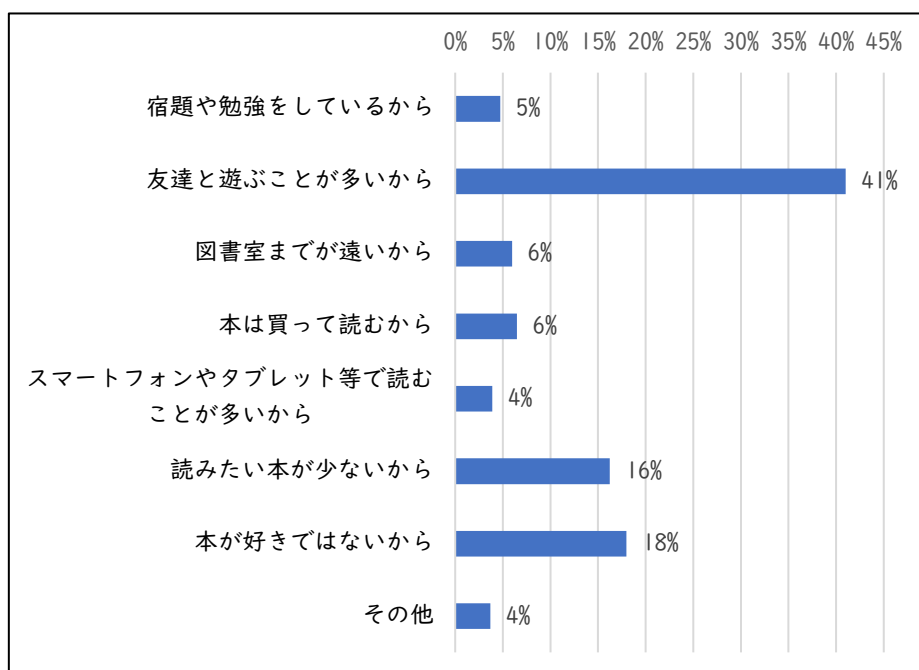
(7) 学校の図書室にはどのくらい行きますか。※学校の授業（じゅぎょう）の時間は含（ふく）みません。



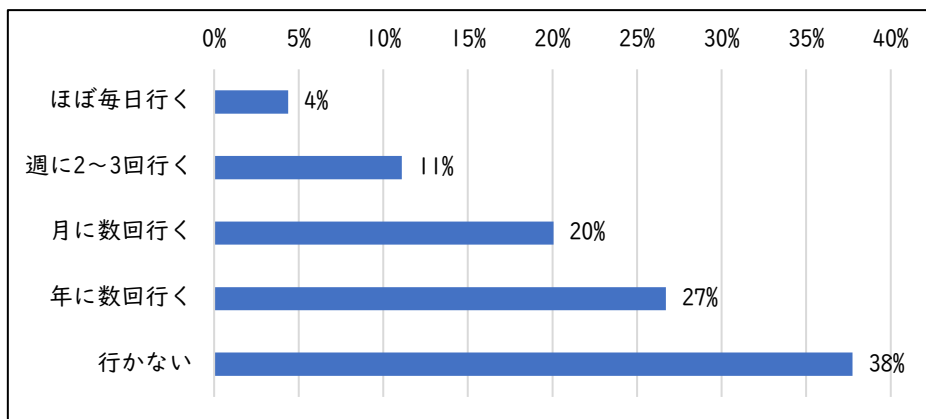
(8) 学校の図書室でのイベントは参加したことがありますか。



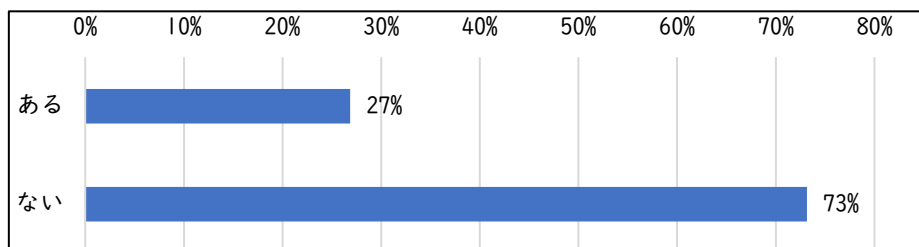
(9) 学校の図書室に行かない理由を教えてください。※複数回答可。



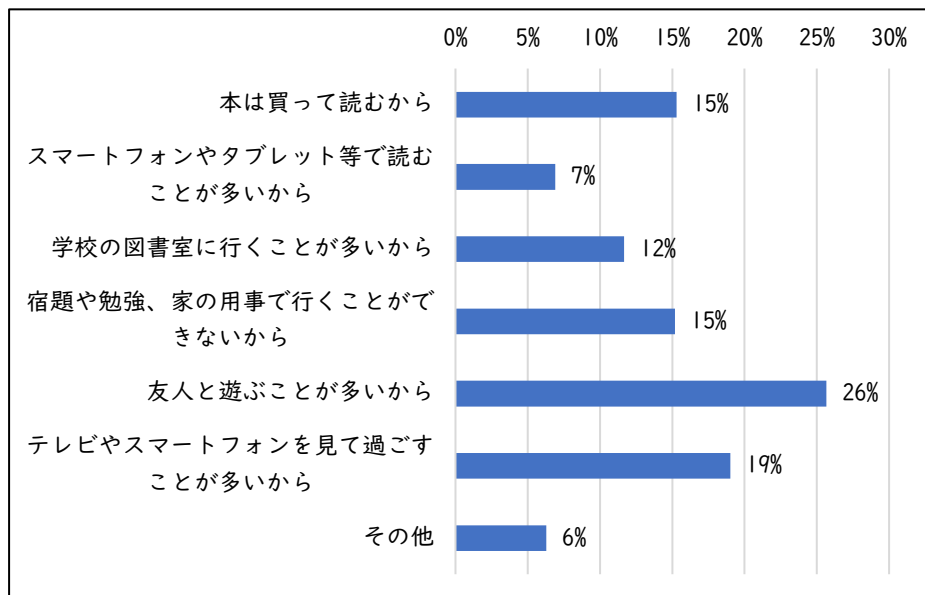
(10) まちの図書館にはどのくらい行きますか。



(11) まちの図書館のイベントに行ったことはありますか。

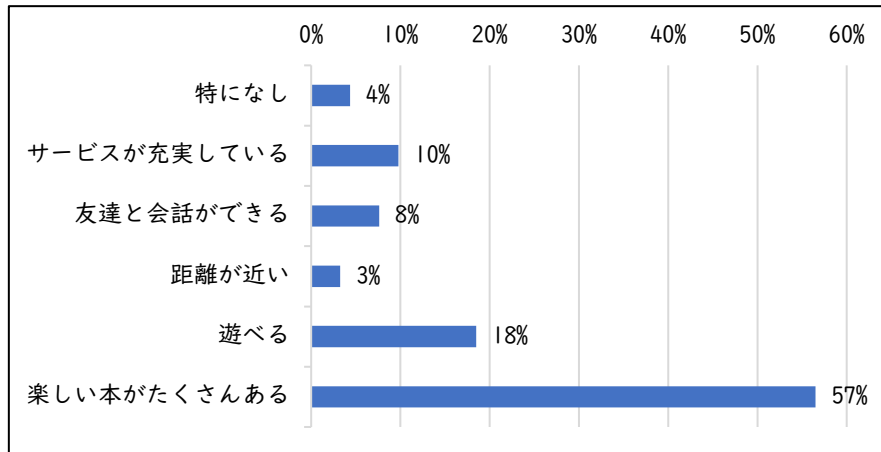


(12) まちの図書館に行かない理由を教えてください。※2つ以上選んでいただいて構いません。



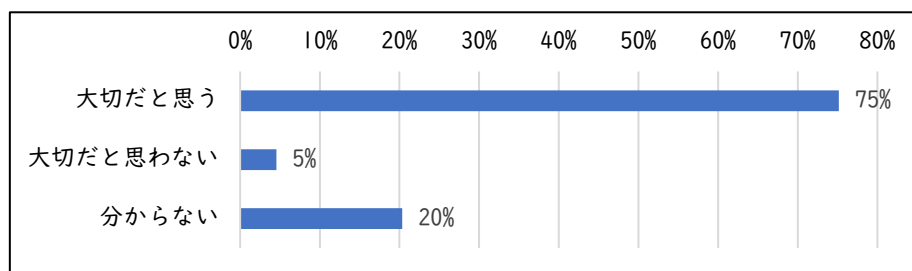
(13) どのような図書館なら行きたくなりますか。(自由記述)

※意見を項目別に集計して表示しています。

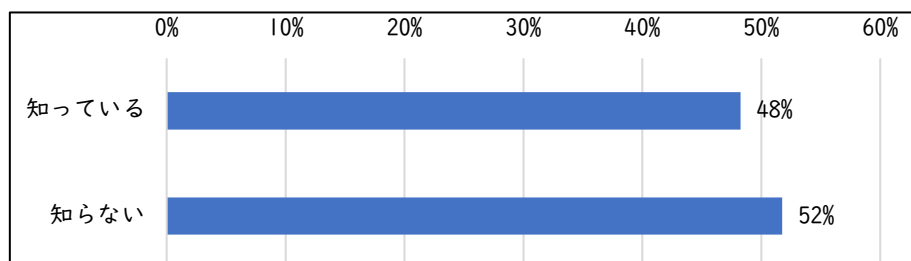


- ・ 楽しい本がたくさんある＝スポーツに関する本・漫画・図鑑など
- ・ サービスが充実している＝飲み物があるところなど

(14) 本を読むことは大切だと思いますか。



(15) 図書館で予約した本を市内の公民館（こうみんかん）や公共施設（こうきょうしせつ）で受け取りや返却（へんきやく）ができることを知っていますか。



3. 市立中学生向けアンケート結果

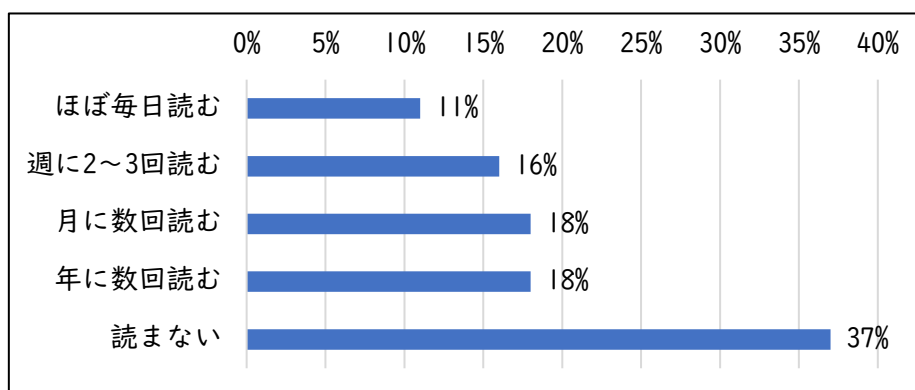
(1) あなたの通っている学校を教えてください。

学校名	回答数
第一中学校	198 人
第二中学校	304 人
第三中学校	330 人
第四中学校	243 人
第五中学校	142 人

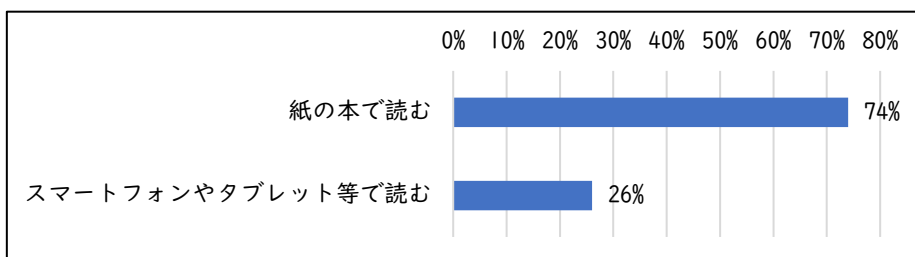
(2) 学年を教えてください。

学年	回答数
1 年生	364 人
2 年生	478 人
3 年生	375 人

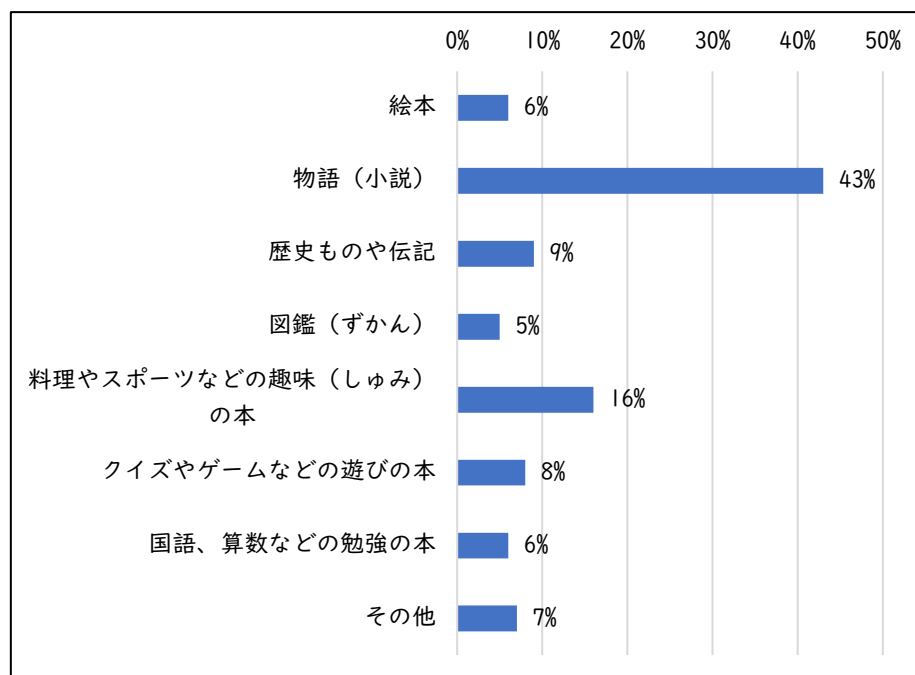
(3) どのくらい本を読みますか。※学校の授業時間や漫画を読んでいる時間は含みません。



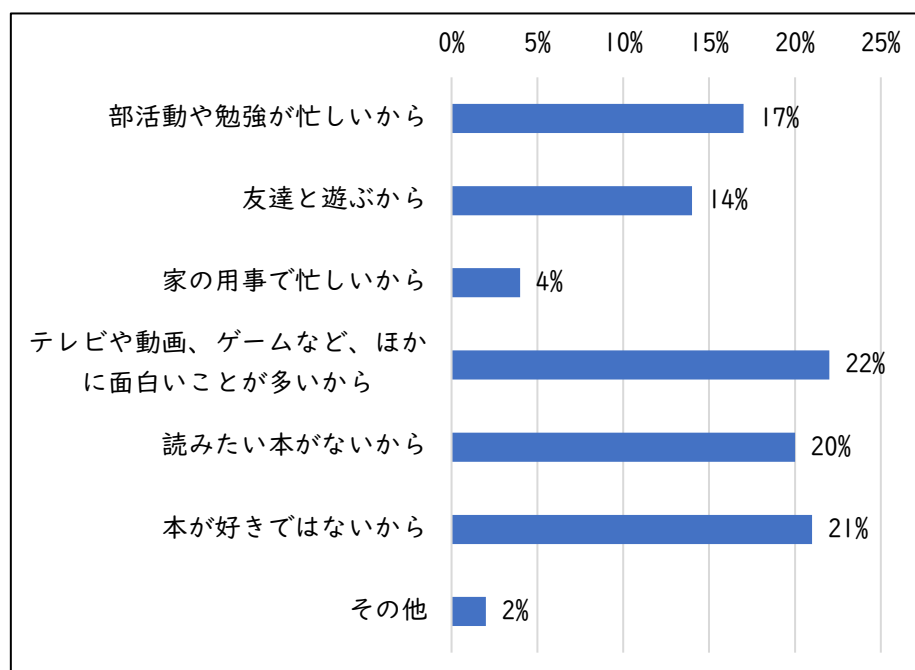
(4) 本を読むときは、紙の本で読みますか。スマートフォンやタブレット等で読みますか。※2 つ以上選んでいただいて構いません。



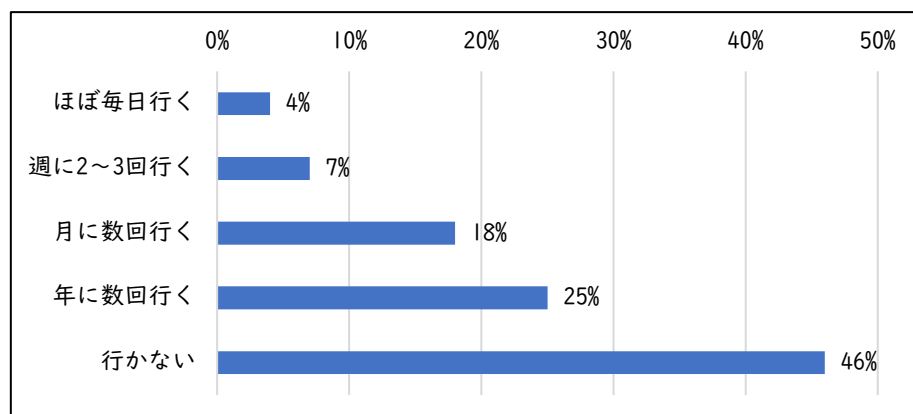
(5) どんな本を読みますか。※2つ以上選んでいただいて構いません。



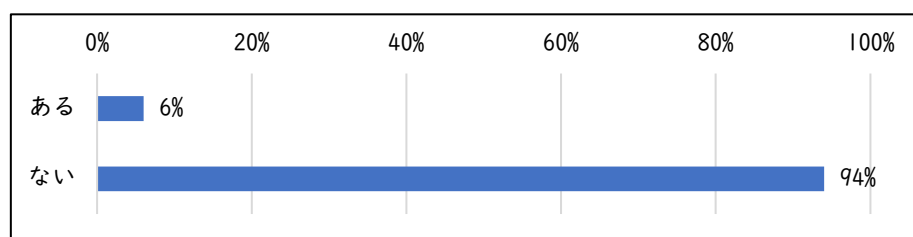
(6) 本をあまり読まない理由を教えてください。※2つ以上選んでいただいて構いません。



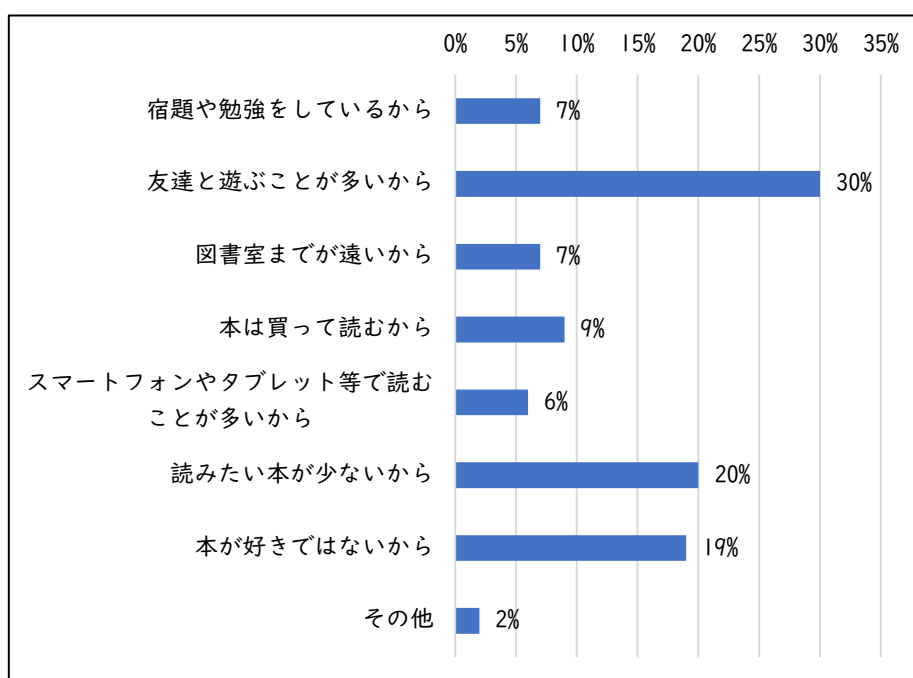
(7) 学校の図書室にはどのくらい行きますか。



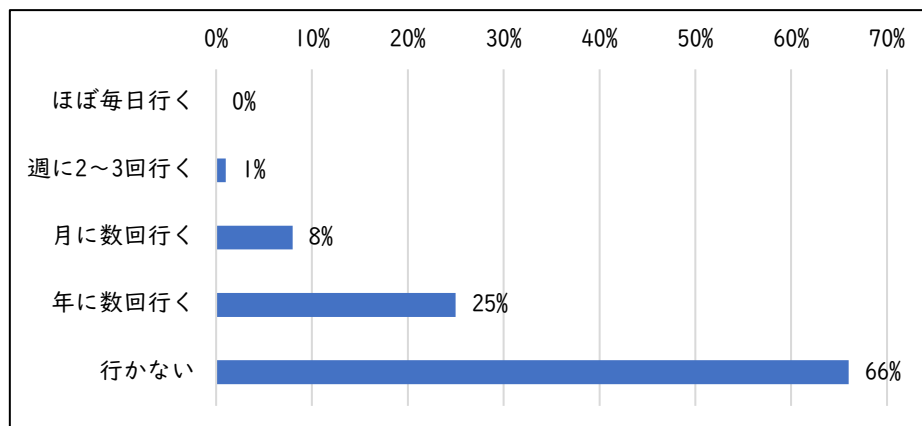
(8) 学校の図書室のイベントに行ったことはありますか。



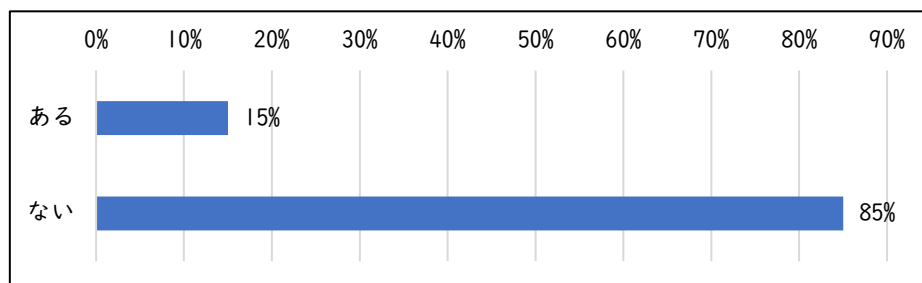
(9) 学校の図書室に行かない理由を教えてください。※2つ以上選んでいただいても構いません。
せん。



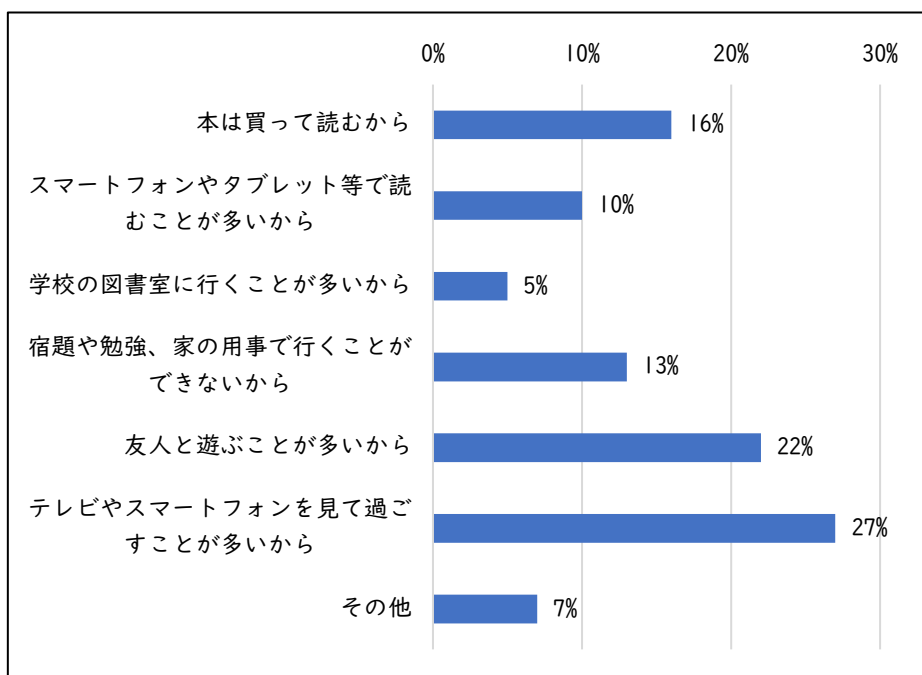
(10) まちの図書館にはどのくらい行きますか。



(11) まちの図書館のイベントに行ったことがありますか。

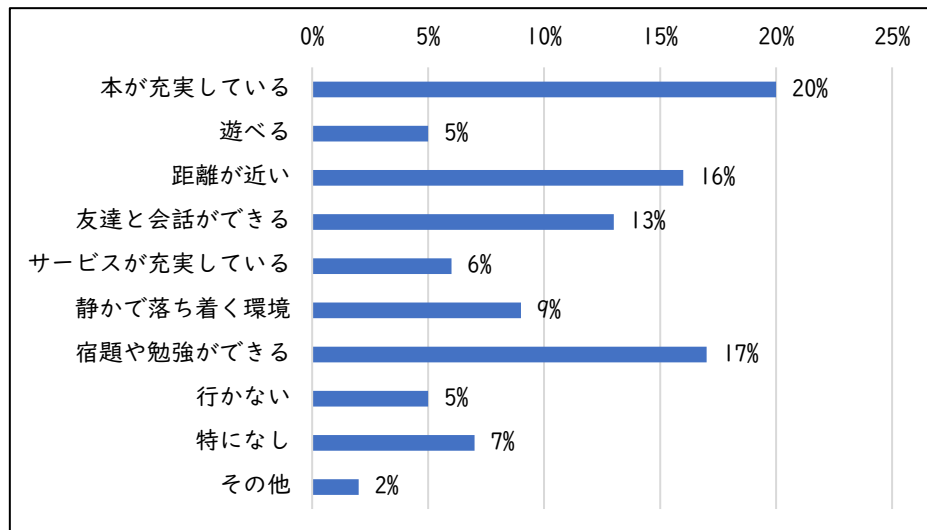


(12) まちの図書館をあまり利用しない理由を教えてください。※2つ以上選んでいただいても構いません。



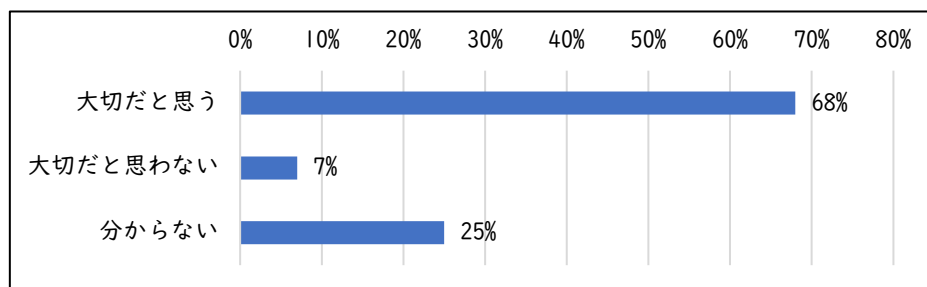
(13) どのような図書館なら行きたくなりますか。(自由記述)

※同じ内容の意見を集約して記載しています。

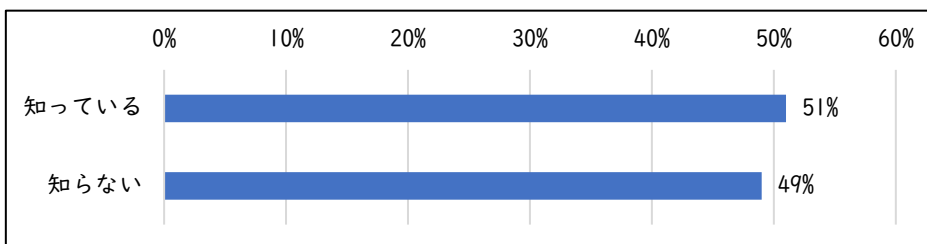


- ・本が充実している＝面白い本・漫画・図鑑など
- ・サービスが充実している＝休憩ができる・飲食ができるなど

(14) 本を読むことは大切だと思いますか。



(15) 図書館で予約した本を市内の公民館（こうみんかん）や公共施設（こうきょうしせつ）で受け取りや返却（へんきやく）ができることを知っていますか。



第5次摂津市子ども読書活動推進計画

令和7年(2025年)4月

発行 摂津市教育委員会

編集 摂津市教育委員会事務局 教育総務部 生涯学習課

〒566-8555 大阪府摂津市三島一丁目1番1号

TEL：06-6383-1111（大代表）/072-638-0007（代表）